

86

240

(M)

理學士學位課程之二卷

中 等

地理教科書

三 卷

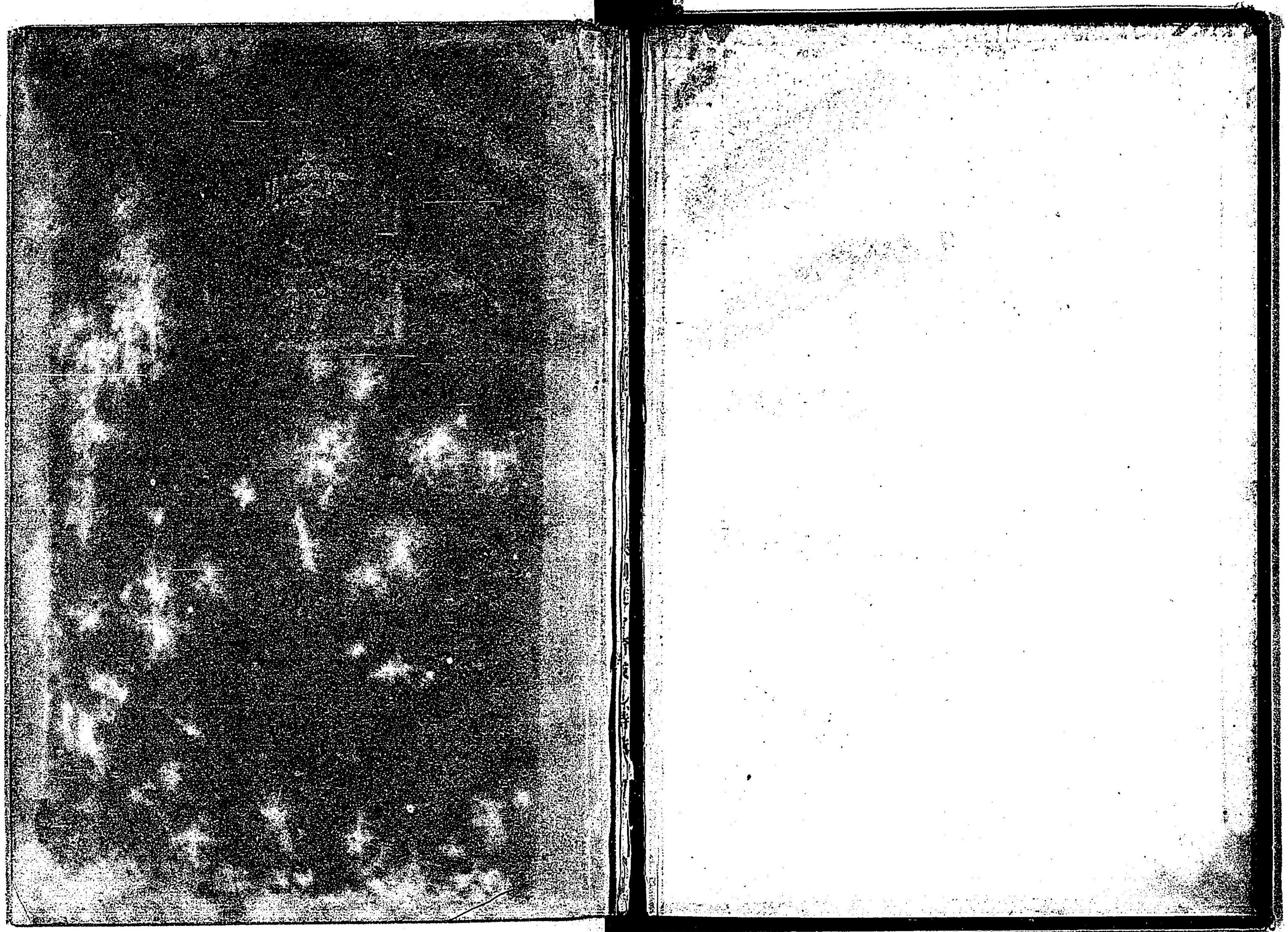


東 京

株式會社

普 及 舍





理學士瀧本澄三著

中等地理教科書



東京 株式會社普及舎



國立編譯館

中等地理教科書卷三

中等地理教科書卷三

目次

第三編 歐羅巴洲

第一章 總論	一—一〇
第二章 露西亞	一一—一九
第三章 瑞典 諾威	二〇—三三
第四章 丁抹	三三—四二
第五章 獨逸	四二—五三
第六章 瑞西	五三—六二
第七章 白耳義	六二—七〇
第八章 和蘭	七〇—八〇
第九章 英吉利	八〇—八五

目次

第十章	佛蘭西	………	五〇三
	イペリア半島	………	五〇七
第十一章	西班牙	………	五〇八
第十二章	葡萄牙	………	五〇七
第十三章	伊太利	………	五〇六
第十四章	奥地利 匈牙利	………	五〇八
第十五章	バルカン半島	………	五〇三
第一	土耳其	………	
第二	ブルガリア及東ルーマニア	………	
第三	ルーマニア	………	
第四	塞爾維	………	
第五	モンテネグロ	………	
第六	希臘	………	

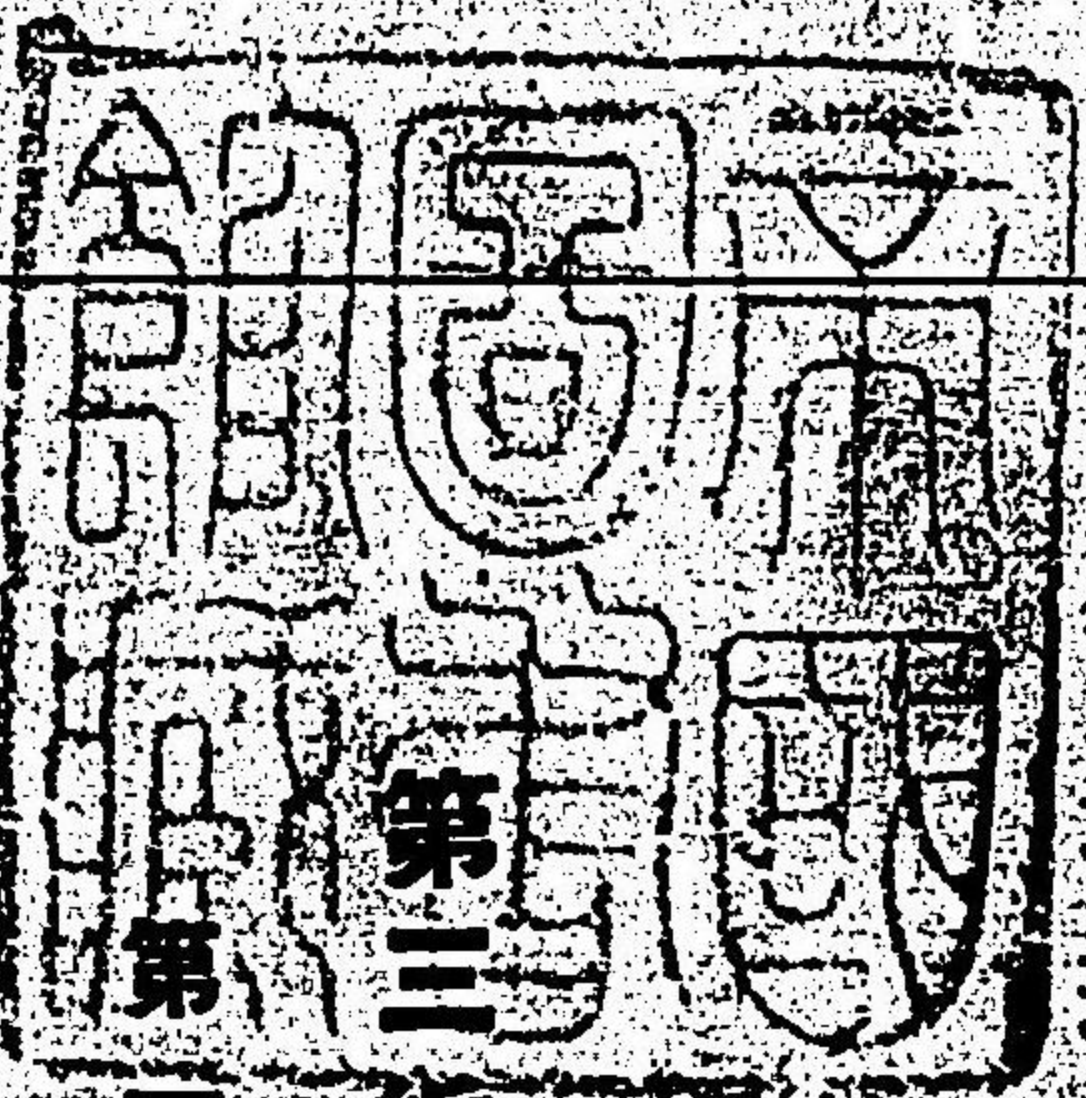
中等地理教科書卷三日次終

中等地理教科書卷三

理學士 瀧本 澄三 著

歐羅巴洲

第三編 第一章 總論



歐羅巴洲は、東半球の西北に位し、南は北緯三十三度二十三分に起り、北は七十一度六分に終り、西は西經九度二十八分に至り、東は東經七十六度一分に達す。東西の長さおよそ一千四百里、南北およそ九百六十里、面積およそ六十四萬方里ありて、亞細亞洲の五分の一強に當る。その境域は、東はウラル山と裏海とを界して、亞細亞洲に連り、南はコーカサス山

地勢
海岸

黒海・地中海を隔てて、亞細亞洲の西北部と亞非利加洲とに對し、西は一面に大西洋に臨み、北は北氷洋に面す。全洲概ね北温帯に屬し、北部は寒帯に入る。

歐羅巴洲は、海岸の出入多く、その面積に比すれば、海岸線の長きこと、六大洲中第一に位し、延長七千八百里あり。北方は、**ラ・ブ・ラ・ン・ド・フ・ン・ラ・ン・ド**とともに、**ス・カ・ン・ヂ・ナ・ビ・ア**の大半島大西洋に突出し、南に延び、**シ・ヤ・ト・ラ・ン・ド**半島とあひ對して、**北・海**と**バル・チ・ク・海**とを分ち、**白・海**は北氷洋面より、洲の北邊に彎入し、**北・海**の西には、**英・吉・利・島**あり、**英・吉・利・海・岬**をこゆれば、**ビ・ス・ケ・ー・灣**に至る。**ビ・ス・ケ・ー・灣**の南に、**イ・ベ・リ・ア**半島あり。その南端を**シ・ブ・ラ・ル・タル**海峡とす。地中海の西關門なり。南方地中海の中央に、**伊・太・利**半島あり。その東に、**バ・ル・カ・ン**半島

山河

突出して、中間に底淺き**ア・ド・リ・ア・ナ・ク**海を作る。**バ・ル・カ・ン**半島の東は、群島の羅列する**多・島・海**にて、その北なる**ダ・ー・ダ・ネ・ル・ス**海峡を過ぎて、**マ・ル・モ・ラ**海に入り、更に北して**ボ・ス・ボ・ラ・ス**海峡を出づれば、霧深く波あらし、**黒・海**なり。**ク・リ・ミ・ア**半島突出して、**ア・ソ・フ**海をいづく。地中海の西部には、**ナ・ボ・レ・オ・ン**第一世の誕生地なる**コ・ル・シ・カ**島、その流罪地なる**エ・ル・バ・ア**島および**サ・ル・ヂ・ニ・ア**、**シ・リ・バ・レ・ア**等の諸島あり。東部には**ク・リ・ト・サイ・プ・ラ・ス**等の諸島あり。

本洲の早く富強を致したるは、全くこの海岸の屈曲多く、良港灣に富むによる。文明の進度は、海岸線の長短に比例すといふ格言の、いよいよ味あることを知るべし。

本洲の地勢を分ちて二とす。山地と平野とこれなり。西南部

は、山地にて、東北部は、平原なり。今黒海の西北隅より、バルチック海の南隅に向ひて、一線を劃く時は、この山地と平原とを分界するを得べし。この分界に互る山をカーパシヤン山脈といふ。南はバルカン山脈に連り、西はアルプス山脈に續く。バルカン山脈は、バルカン半島に蟠居し、アルプス山脈は、山地の中央に聳えて、歐洲全土の脊梁となり、北海と地中海との分水界をなす。脈中のモンブラン山は、直立一萬五千七百八十四尺あり。本洲第一の高峯なり。餘脈南に延びて、アペニン山脈となり。西に走りてピレニース山脈となる。平原地方の東を限るウラル山脈は、歐亞二大洲の限界なれど、さほど高峻にはあらず。東南境には、コーカサス山脈あり。山地の中にも、西に佛蘭西平原、北に獨逸平原あり。これに東北の茫々た

る露西亞平原を加ふれば、全洲の三分の二は、平地に屬す。河流は、ボルガ河を第一とす。露西亞平原を南流して、裏海に入る。全長九百八十里の間、大抵汽船を通ずべし。これに次ぐをダニユーブ河とす。流程七百里、黒海に注ぐ。この河は、本洲中部交通の要路にて、水運の便最もよろしく、文化の進歩を助くること少なからず。ライン河は、北海に注ぐ大河にて、流程三百二十里あり。運輸の便多く、かつ河畔は風景に富む。この外、ウラル、ドン、エルベ、ニール等の諸大河、および運河等ありて、運輸交通極めて便なり。

湖水は平原地方に、ラドガ、オネガ等の諸大湖あり。山地には、ゼネバ湖、コンスタンスタス湖等あり。

本洲は、アルプス山脈東西にわたりて、地勢を南北に分ち、南

氣候

天産物

より来る暖氣と、北より送る寒風とを遮るにより、南部は温暖にて、南端に至れば、暑氣強く、北部は、東に至るに従ひ、寒氣殊に烈しく、人類の生活に適せざる處多けれども、西に至れば、頗る温暖なり。西部大西洋に面する一帶の地方は、熱帶地方より来る墨其西哥暖流の海岸を洗ふにより、寒暑ともに中和を得て、人事の繁榮すること、本洲第一なり。東部地方は、亞細亞大陸に接するにより、大陸氣候の常として、寒暑いづれも烈しく、寒氣は殊に峻烈なり。東南部の黒海近傍も寒氣強し、雨量は、西南部の海岸に多く、東部は極めて少なし。本洲の地勢氣候は、各地非常の差違あるにより、天産物の分布も、到る處同じからずして、分業をなすに極めて便なれば、各種事業の發達を助くること甚だ多し。

住民

植物は、地中海濱最も繁茂す。この地方は温暖にて、雨量多ければ、綿、橄欖、甘蔗、檸檬、無花果、桑等の産出夥し。中部は葡萄、麥類、馬鈴薯の産額世界第一にて、玉蜀黍、甜菜、麻等の産も極めて多し。北部は、植物漸く少なく、北氷洋の海岸には、矮小なる柳類、苔類を生ずるに過ぎず。動物は、家畜類の産盛んなり。中にも馬は東北部に多く、牛は西部に多し。羊豚は各處にかはれ、北部には馴鹿を産す。礦物は、殆ど全洲の富を作り出たすともいふべきものにて、各種の礦物悉く備はる。中にも鐵と石炭とは、特に良質にて、産額も夥しく、金、銀、銅類また多し。本洲の住民は、多くはコーカサス人種のアリヤ種に屬すれども、東南部には、トルコ種、フィンランド種、マシール種等に屬

するものあり。また本洲最舊の土人なるラフランド種もなほ少数を存す。アリア種もその經歷に従ひ、自然にケルツラテン・ナウトン・スラブの四派に分れたり。言語のごときも、その種族特有のものを用ふ。總人口三億萬ありて、亞細亞洲の次に位す。住民の稠密なるは西南部にて、東北部は稀少なり。これ氣候の良否と、交通の便否とによりてなり。宗教は、耶蘇教最も盛んなり。分れて三派となれり。一を舊教、または天主教といふ、羅馬法王を教主とす。ラテン・ケルツの兩種族は、大抵これを奉ず。一を希臘教といふ。露西亞皇帝その教主たり。スラブ種族は大抵これを奉ず。一を新教といふ。教主を置かず。ナウトン種族は、大抵これを奉ず。また回教、猶太教は東南部に行はるれども信徒の數多からず。

區劃

本洲は邦制上分ちて左の十九國とす。

- 露西亞 瑞典 諾威 丁抹 獨逸 奧地利 匈牙利 瑞西
- 佛蘭西 和蘭 白耳義 英吉利 西班牙 葡萄牙 伊太
- 利 土耳其 希臘 塞爾維 羅馬尼亞 モンテネグロ
- ブルガリア

この中、土耳其以下六國をバルカン半島と稱し、西班牙・葡萄牙の二國をイタリヤ半島といひ、瑞典・諾威國をスカンデナビヤ半島といふ。また全洲を地勢に従ひて、東西南の三部に分ち、東部は露西亞全國にて、これを東歐羅巴と稱し、地中海沿岸國を南歐羅巴といひ、北海沿岸地および瑞西の諸國を北歐羅巴と呼ぶ。

以上諸國の中、バルカン半島の外は、皆わが條約國なり。

第二章 露西亞

地勢
平原

露西亞は、本洲の中央より東北に擴がる大平原地方にて、全洲の過半を占め、その面積は三十五萬方里、即ちわが國の半三倍に相當す。全國殆ど山と稱すべきものなく、ただ東邊のウラル山脈と、南方のコーカサス山脈とあるのみ。中央は茫茫たる平原にて、ただバルガイと稱する丘陵、西南より東北にわたりて、僅に分水界をなすのみ。この大平原は、處によりて大いに趣を異にし、北部はタンドラと稱する卑濕の澤地にて、冬季は全く氷に閉され、不毛無人の寒野となる。中部には、本洲無比の大森林ありて、松柏の類繁茂し、人烟甚だ少ない。南部にある黒海、裏海の畔は、樹木なき卑濕の荒原なり。た

河流

湖沼

だ西南部は、地味肥沃にて、農産物夥しく、特に小麦の良種を出だすがゆゑに、歐洲の穀倉と稱せらる。この地方は、入口多し、商業も發達す。

河流は、南部には歐洲第一の大なるボルガ河およびドニエプル河あり。これを露西亞の三大河と稱す。ニースタル河も、これに次ぐ大河にて、共に水運の便多し。中にも、ボルガ河は、水深く幅廣く、流勢緩やかなる上に、その上流には、運河を設けたれば、南は裏海より、北はバルチック海、白海まで、汽船を通じ、運輸交通至便なり。北部には、ネチラ、レナ、チチナの三河あり。すべてこの國の河は、平原の間を流るるゆゑ、水勢緩く、水運によるしけれども、冬季に至れば、北部は七八ヶ月、南部は三四ヶ月間は、氷結して全く用をなさず。湖沼は、西北

氣候

方なるフンランド地方に多し。ラドガ湖は、歐洲第一の大湖にて、オネガ湖これに次ぐ、裏海近傍には鹹湖多し。氣候は、一般に寒氣甚しけれども、土地廣大なれば、處によりて多少の差あり。北部は土地年中氷結して耕作すべからず。中部は寒氣やや薄けれども、なほわが國には、これに比すべき嚴寒の地なし。南端のクリミア地方は、夏季長く暑氣頗る強く、極北のラプランド地方は、夏季は太陽の没することなく、冬季は太陽を見ることなし。即ち一年一晝夜なり。雨は一般に少なし。要するに人の生活に困難なる國なり。産物は各種とも備はる。國民の過半は、農夫なれども、夏季短きにより、小麥の外は良種のものなし。裸麥・亞麻・苧・馬鈴薯・甜菜等は、産出の多きものなり。家畜には馬・牛・羊・馴鹿等あり。

産物

住民

中にも馬は良種なり。鑛物はこの國の命脈ともいふべき産物にて、ウラル山脈最も鑛産に富む。金の産額のごときは歐洲第一に位し、銀・白金・鐵銅・石炭・石油・食鹽等の産出も夥しく、裏海の食鹽・ユーカサスの石油、特に有名なり。中部の大森林には、木材・薪等を産すること多し。工業も近來頗る進歩し、綿布の製造は、殊に盛なり。住民は大抵スラブ人種なれども、北部は蒙古人種およびエスキモーと稱する矮小人住居す。またドン河の西部に、コサック人と稱する勇悍の土人あり。露政府は、これを軍役に使用す。スラブ人は、性質慍悍にて、壯大の氣象あり。總人口一億萬あり。言語は大抵露西亞語を用ふれども、西部ポーランド地方は、ポーランド語盛んに行はる。宗教は希臘教を奉じ、皇帝

はその教主なれども、他の宗教を奉ずるものなきにあらず。教育はいまだ普く行はれざれども、強迫してこれが普及を計れり。高等教育は、頗る進歩し、上流社會には、著名の學者も少なからず。

政治

政治は、君主專制にて、政府は國務院・元老院・內閣・教務院の四部より成る。國務院は法律を調査し、元老院は法律を發布し、兼ねて最高裁判所たり。內閣は諸政を總理し、教務院は國教の事務を監督す。陸軍兵數は、平時九十萬にて、戰時には三百五十萬を出だすべく、軍馬は六十萬頭、大砲五千三百門を有す。海軍は少なかりしが、近時は大いに擴張して、百二十隻の軍艦を有するに至れり。

交通

この國の河流は中部より南北に流下し、支流多く、運河に連

絡しやすく、かつ流れ緩なれば、夏季の交通は、多く河流によれど、氣候嚴寒にて、氷結を免れざれば、冬季は橈による。また中部以南は、鐵道普く敷設せられ、歐亞二大洲を連ねたるシベリア大鐵道も、すでに全通し、やや便利を得たり。されど道路は頗る不完全なり。郵便・電信の制も、ほほ備はる。

貿易

この國は亞歐二大洲の間にありて、恰も中央市場のごとく、西歐よりは製品を輸入して、未製品を輸出し、中央亞細亞および北亞細亞の西部よりは、未製品を輸入して、製品を輸出す。内地貿易は、處々の都會に定期の市場を開きて取引し、外國貿易は、セントペテルブルグとオデッサの兩港にて賣買す。その取引先は、支那・獨逸・英吉利等にて、輸出品は穀物・亞麻・木材・礦物・家畜・獸脂・毛皮等とし、輸入品は茶・綿・珈琲・毛布・酒類と

す。わが國に對しては石油を輸出し、わが國よりは米・茶・雜貨等を輸入す。

この國は大別して露西亞本部・フィンランド・ラップランド・北コーカサスの五部となす。露西亞本部は、中部より四方にわたりて、全國の大部分を占むる地方なり。首府セントペテルブルグは、フィンランド灣の東岸にあり。もと卑濕の寒村なりしが、西歐に近く、貿易上軍事上いつれも肝要の地なれば、今より二百年前、ペテロ大帝都をここに遷したり。爾來人口次第に増加し、今は百二十五萬に達し、繁盛なる大都會となりたり。港内は冬季は氷結すれども、夏季は大船輻湊して、貿易盛んなり。日本公使ここに駐在し、スカンジナビアの二國を兼務す。グロンスタットは、その前にあり。鐵造の砲臺

都會



セントペテルブルグ

クロンスタット砲臺

には、亞歐二大洲より集り來る商人三十萬に上り、その取引

を設けて、帝都の守備頗る嚴重なり。モスクワは遷都以前の舊都にて、國の中央にあり。國內交通の燒點に當り、内地貿易盛んなり。嘗て佛帝ナポレオン第二世の攻入りし時、焦土となりしが、今は人口百萬を有し、市況繁昌なり。ニズニノブゴロトは、ボルガ河の南岸にあり。南北交通の中心に當り、毎年夏季の開市期

實に盛んなり。オデッサは黒海の要港にて、人口四十萬あり。小麦の輸出地なり。クリミア半島のセバストポールには史上に名高き砲臺あり。アストラカンは、ボルガ河口の三角洲にあり。裏海の要港にて、魚類・食鹽の市場なり。カザリンは、シベリアとの貿易場なり。

フィンランドおよびラプラント地方は、産物も少なく、大都もなき北方の寒地なり。ポーランドは、西南隅にあり。もとポーランド國の地にて故都ワルシャワは、人口六十三萬を有する大都なり。リーガ河口のリーガは、バルチック海の貿易港なり。その他希臘教徒の聖地なるキエフ・馬の市場なるハルコフ・穀物・材木に名高きウルク・ヘルソン等の都會あり。北コーカサスは、コーカサス山脈の北にある僻地なり。

露西亞人は昔は蒙古人に屈從せしが、今よりおよそ四百二十年前にアイバン大帝といふもの出で國人を團結し、新に一の帝國を建ててモスコに都せり。その後百餘年を経て、アイバン猛帝あり、更に百年にしてベラ大帝出でて大に領土を擴め、また百年を経て、カザリン三世の世に至り、獨逸および埃地利と謀を通じ、前後三回にポーランド國を討滅して、その地を分取じ、ついでフィンランドをも占領して、現今のごとく廣大なる領土となり、遂に世界陸地の六分の一を占め、總人口一億萬を有し、歐洲五大強國の一に數へらるるに至れり。

第三章

瑞典 諾威

地勢

スカンデナヴィア半島は、東歐羅巴の西北端にあり。中に瑞典・
 諾威の聯合王國を包有す。北は北氷洋に面し、東はラフラン
 ドに連り、ボスニア灣・バルチック海をはさみて、露國とあひ對
 し、西と南とは、大西洋および北海に臨む。キオレン山脈は脊
 梁をなし、二國の界をなす。瑞典は山の東にあり。沿海に平地
 多し。河流は、ボスニア灣に注ぐ。西南部には、湖沼多し。諾威は
 山の西にあり。全土山多く、海岸は絶壁にて、河流その間に注
 ぎ。夏季は瀧となり、冬季は氷河となる。面積は合せて五萬方
 里、およそわが國の二倍弱なり。

氣候

氣候は、暖流の調和をうけて、西海岸は、海水氷結せざれども、

産物

他は悉く堅氷を結び、内地は烈寒にて、水銀さへ氷結す。この
 國はただ夏冬の二季にて、冬は長く夏は短かく、極北部は夏
 は數週間太陽の没することなく、冬は數週間夜となること
 あり。

産物は、林産・水産・鑛産を主とす。農産は極めて少なし。山地は
 大森林ありて、良材多し。諾威の沿岸は、世界三大海場の一に
 て、鱈・鯡を漁すること夥し。瑞典の鐵は、世に聞えたる良質な
 り。

住民

住民は、サウトン種に屬し、勇敢勤勉にて、信義に厚く、容貌も
 端麗なり。人口は、瑞典に四百八十萬、諾威に二百五十萬あり。
 教育も頗る普及す。宗教は新教を奉ず。

政治

政治は立憲政體にて、國別に政府・議院等を設けあれども、瑞

都會

典國王は兼て諾威國王の位に即く。もと丁抹の領土なりしが、今より九十年前に獨立して聯合王國を建てたり。瑞典の首府をストックホルムといふ。メーラル湖畔にありて、バルチック海の貿易場なり。市街は四十餘の小島に立ち並び、風景絶佳にて、恰も伊太利のベニスに似たれば、北方ベニスの稱あり。人口三十萬を有し、露國と貿易盛んなり。ゴテンブルグは西濱の貿易港なり。諾威の首府クリスタニアは南方の灣頭にあり。工業盛んなり。ハメルフェストは歐洲最北の都會なり。

第四章 丁抹

地勢

丁抹は、北海とバルチック海との間に突出するシヤットランド半島およびシラント島と、その他の群島とより成る王國にて、その面積二千六百万方里、およそわが九州に似たり。南は獨逸に連り、國中一の山岳なく、大河もなし。往々海面より低き處ありて、堤防を築きて、海水の浸入を防ぐ。

氣候

氣候は溫和にて、濕氣多く、地味肥ゆれば、住民は多く、農業・牧畜に従事す。また漁業をなすものもあり。穀物・牛・馬・羊・豚・鯉・鮭を主要の産物とす。製酪業殊に盛んなり。畜類・乳油・穀類を主なる輸出品とす。

産物

住民

住民は、ナウトン種に屬す。その性質は、瑞典・諾威人に同むく

勇敢・謹直なり。古來海業に熱心にて、優等の海員を出だせり。教育はよく行はれ、文字を知らざるもの殆どなし。宗教は新教を奉ず。人口二百二十萬あり。この國人は、海底電信架設に長ず。

政治は、立憲政體にて、上下兩院の會議あり。もと瑞典・諾威をも領せしが、今は一小國となりたり。

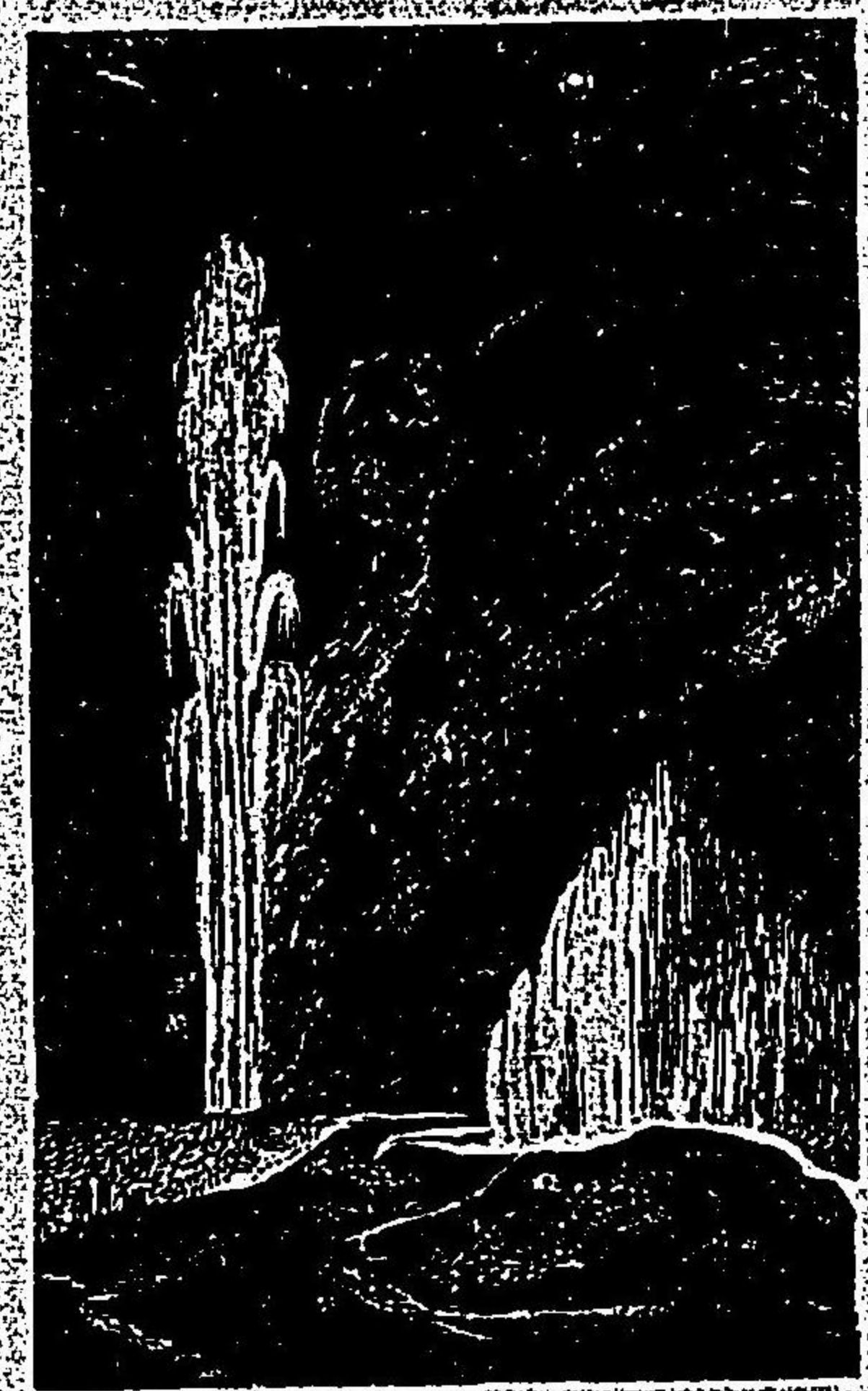
都會

首府コペンヘーゲンは、ジールランド島の東岸にあり。人口三十八萬を有し、貿易盛んなり。港口に堅固なる砲臺ありて、バルチック海の咽喉を扼す。

屬地

丁抹の屬地に、アイスランドあり。大西洋の北部にあり。面積六千七百萬方里、地北極圏に迫り、氣候極めて寒く、年中氷雪の絶ゆる時なければ、住民は七萬餘に過ぎず。島内火山多くへ

ク・ラ・山は、殊に有名な。また間歇泉あり。時を定めて噴出すること百五十尺に達す。世界第一の噴泉なり。島内教育普及し、道徳よく行はる。フ・ロ・諸島その南にあり。この外北米のグリーンランドおよび西印度の數島も屬地なり。



アイスランドの温泉

第五章 獨逸

獨逸は、一に日耳曼と稱し、歐洲五強國の一にて、中部に位する帝國なり。四王國、六大公國、五公國、七侯國、三自由都府の二十五聯邦およびエルザス・ロートリンゲンの二州より成る。この中普魯西王國は、最も大にて、全國の三分の二を占む。全帝國の面積は、三萬五千方里あり。

地勢

山脈南方を繞り、北はバルチク海、北海に臨み、一部は丁抹に連り、東は露國のポーランドに、西は佛蘭西、白耳義、和蘭の三國に連る。地勢南方は山多く、大森林に富み、北は北歐平原に連る。大平原なり。されば河は皆南方に發して北流す。ひとりメニツプ河は南部高地の水を集めて、奥地利に入る。ライン河

ウーゼル、エルベ、オーデル等の諸水は、北流の大河にて、平原中を回流し、水勢緩く、河底深く、航運灌水ともに便なること非常なり。殊にライン河の上流は、風景に富み、温泉多く、獨逸の樂園と稱せらるるが上に、運河によりて佛國のロイン河、セーヌ河に通ずれば、北海より直に太平洋にも、地中海にも、出づることを得て、運輸交通至便なり。さればこの國の發達は、河流の助によること多し。

氣候

氣候は、寒暑ともに強し、その中東および南は烈寒なり。これ暖潮の西および北方を調和するに反し、南は高地に屬し、東は大陸の氣候をうくるによる。雨は北に多く、南に少なし。産物は、すべて豊富なれども、農産、林産、鑛産を主要とす。全國面積の百分の九十四は、農産地にて、麥類、馬鈴薯、亞麻、葡萄、甜菜

産物

住民

等の産額夥しく、牛馬の産も多し。山林保護法の完備せるは、世界第一にて、木材の産出莫大なり。鐵・石炭・銀・銅・鉛等の鑛産も世界有數にて、製鐵の業盛んなり。毛布・絹布等の工業品も多く、殊に麥酒は世界第一の産額にて、葡萄酒も主要の輸出品たり。わが國よりは米・絲を輸入す。

住民は多くはナットン種に屬し、言語風俗大抵同じく、愛國心に富み、志慮深く、かつ勇敢の氣象盛んにて、武事を好み、決闘の流行甚だし。人口五千六百萬あり。教育は一般に普及し、國民中文字を知らざるもの殆どなく、高等の學術・技藝大いに進歩し、哲學・理學・醫學のときは、世界に冠たれば、外國より留學するもの多く、大學校も二十一の多きに及べり。宗教は、北部は新教を信じ、西南部は舊教を奉ず。

政治

政治は、立憲政體なり。普魯西王は、兼ねて、獨逸聯邦の皇帝なり。議會は、聯邦議會および代議院とす。聯邦議會の議員は、各聯邦を代表するものにて、毎會各聯邦政府これを任命し、代議院は、人民より公選せられたる議員にて組織したるものにて、國民を代表す。陸軍は、全國皆兵の制にて、丁年の男子は、必ず兵役に服する義務あり。總兵數四十八萬三千なれども、危急の時には、三百萬の戦員を得べし。海軍も近來大いに擴張して、百八十隻の軍艦を有するに至れり。交通機關は、水陸ともに完備し、河海および運河の航行船舶多く、鐵道は國內のみならず、全歐洲に貫通し、郵便・電信も到る處に連絡す。交通の完備すること、右のごとくなれば、貿易の盛んなること、は勿論にて、陸には露・奧丁の諸國より、海には英・米・露等の諸

交通

貿易

都會



學大ニリルベ 城古のシイラ

國と取引盛んなり。輸出品は砂糖・織物・麥酒・葡萄酒・金屬器・器械類・玻璃等を主とし、輸入品は、綿布・珈琲・羊毛・生絲・小麥等とす。

ヘルリンは、帝國の首府にて、普魯西の中央なるエルベ・オーデル・兩河の中間に位し、水陸要衝の地なり。人口百九十九萬あり。市街清潔にて、道路廣く、家屋は壯大美麗なり。この地は世界學術の淵藪なるのみならず、近來は歐洲政治上商

工業上の中心地とならむとする勢あり。わが公使館はここにあり。ハンブルヒは、エルベ河の東岸にある重要な貿易港にて、人口七十萬あり。ブレンメンは、ウーゼル河畔の要港なり。オーデル河畔のブレスローは、東南隅にあり。歐洲第一の羊毛市場にて、また鐵工業の盛んなる地なり。東北のダンザヒケ・ニグスベルヒは、いづれも材木・小麥・麻を輸出す。その他エルベ河畔のドレスデンは、風景の都にて、ライプザヒは、書籍業の中心なり。ライン河畔のケールン・フランクフルト・南方のミンヘン・北方のマグデブルヒ・ハノーブル・ブレンメン等いづれも有名の都會なり。

この國は昔カロー大帝の建てたる羅馬帝國に始まり、中世埃地利公世々その位に即きしも、今よりおよそ九十年前佛帝ナポレオン第一世に攻破

られて、一時中絶し、ついで獨逸聯邦組織せられしも、聯邦中、埃地利、普魯西の二強國、常に勢力を争ひ、遂に兵を受くるに至り、普魯西勝ちて埃地利を聯邦より省き、みづからその盟主となれり。わが明治三年、佛國と戦ひ、翌年これを降し、エルザス、ロートリンゲン^{Lothringen}の二州を取りて、これと和し、憲法を制定して、聯邦の基礎を固くせり。

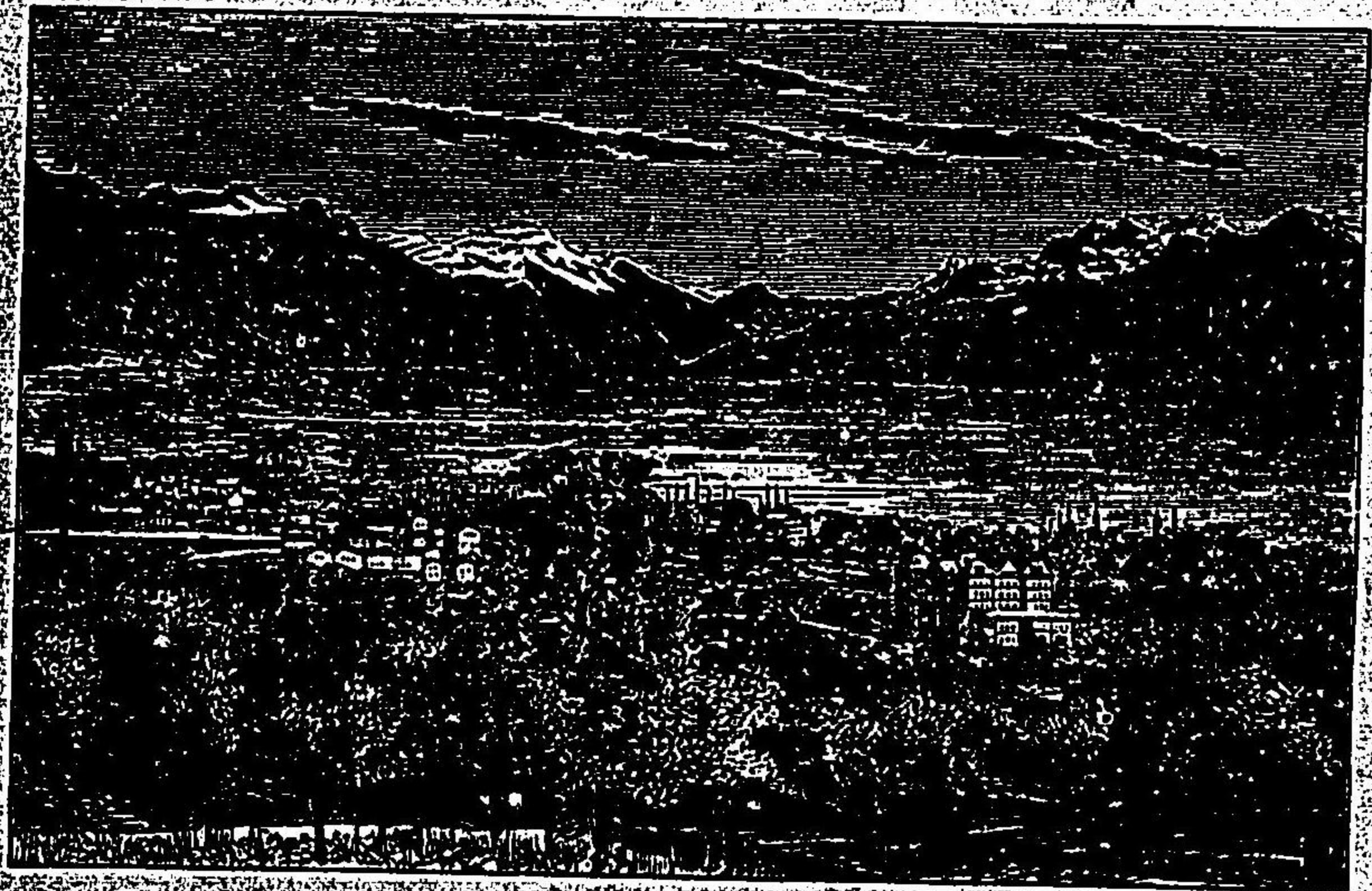
第六章 瑞西

地勢

歐洲第一の高地にて、獨佛伊奧の四強國の間に介立する小國なり。面積二千六百万方里、わが九州とほぼあひ同じ。高山峻岳四周を繞り、殊に南境にはアルプスの高峯、四時白雪を戴き、山中には氷河、氷泉ありて、甚だ壯觀なり。西南歐の諸水は、この國より分流するもの多し。ダニール、ブライン、ローレン等は、その大なるものなり。沿河の地は、谷深く、流急なれば、運輸の便少なければ、工業の原動力には極めて便なり。湖水多し。ゼネバ、コンスタン、タンス等を有名なりとす。山水に富むこと以上のごとくなれば、その風景極めて美にて、毎夏歐洲の各部より遊覽するもの多く、歐洲の公園の稱あり。

産物

地勢高きにより、氣候寒冷にて、深山幽谷中には、暑中といへども、白雪絶ゆることなし。國內山多く、耕地少なく、農産物は國民を養ふに足らず。牧畜は、主要の生業にて、良種の牛・山羊等多く、乳類・乾酪は、輸出の主なるものなり。工業は、甚だ盛んにて、時計・寶石・織物の産出夥し。中にも時計は、最も名だかく、わが國へも輸出し、わが國よりは、生絲・羽二重



ゼネバ湖

住民

等を輸入す。住民は、おもにナットン種なれども、一部ラテン種のものあり。性節儉にて、忍耐力強く、また愛國心に富む。教育もよく行はれ、宗教は新教を奉ずるもの多し。人口三百萬あり。政治は、立憲共和政體にて、二十二州の自治體より成る。上下二院の議會あり。立法・行政の最高權は議會に存し、兩院の會同を聯邦議會とす。聯邦議會は、行政員を選びて、聯邦行政院を組織し、長官を議長として、政を行はしむ。兵備は現役の兵なく、事あるの日は、全國の壯丁皆兵となる制なり。海軍は全くなし。交通は鐵道による。鐵道も峻坂なるにより、アプト式機關を用ふること、わが碓氷嶺のごとし。郵便・電信は、いづれも發達す。

首府ベルンは、アール河畔にあり。人口七萬に足らず。ゼネバは、人口十萬國中第一の都會にて、ゼネバ湖畔にあり。時計の製造盛んなる所なり。ブーリク、パーセルは、いづれも織物業盛んなり。

第七章 白耳義

白耳義は、獨逸の西にある小王國にて、面積一千九百方里、わが九州の五分の四に過ぎず。人口六百七十萬即ち一方里三千五百二十六人を容れ、その稠密なるは、世界第一なり。

東南は丘陵ありて、森林に富み、西北は低平にて、沿海の地は海面より低く、堤防を築きて海水の浸入を防ぐ。河流溝渠多く、運輸灌溉いづれも便なり。

氣候は、西北沿海の地は、溫和なれども、内地に入るに従ひ、寒暑とも漸く強し。産物は鐵と石炭とを第一とす。従ひて鐵器の製造盛んなれば、世に呼びて小英國といふ。綿麻毛織物、硝子等も産出多し、農産物は少なし。わが國へは、鐵物類、硝子を

地勢
氣候
産物

住民

輸出して、わが國より米・羽・二重魚油を輸入す。

住民は、瑞西と同じく、ナウトン種多く、一部のラテン種を交ふ。教育も、追々進歩し、四個の大學を有す。宗教は、多く舊教を奉ず。

政治

政治は、立憲君主制なり。議會は上下の二院より成る。この國は、昔は西班牙國に屬し、中ごろ、オーストリア 奧地利の領土となり、今より八十餘年前、獨立して和蘭と合併し、ネヂーランド王國を建てたりしが、僅に十五六年にて、再び分離し、現今の國を成せり。交通機關完備して、内外の交通自在なり。

都會

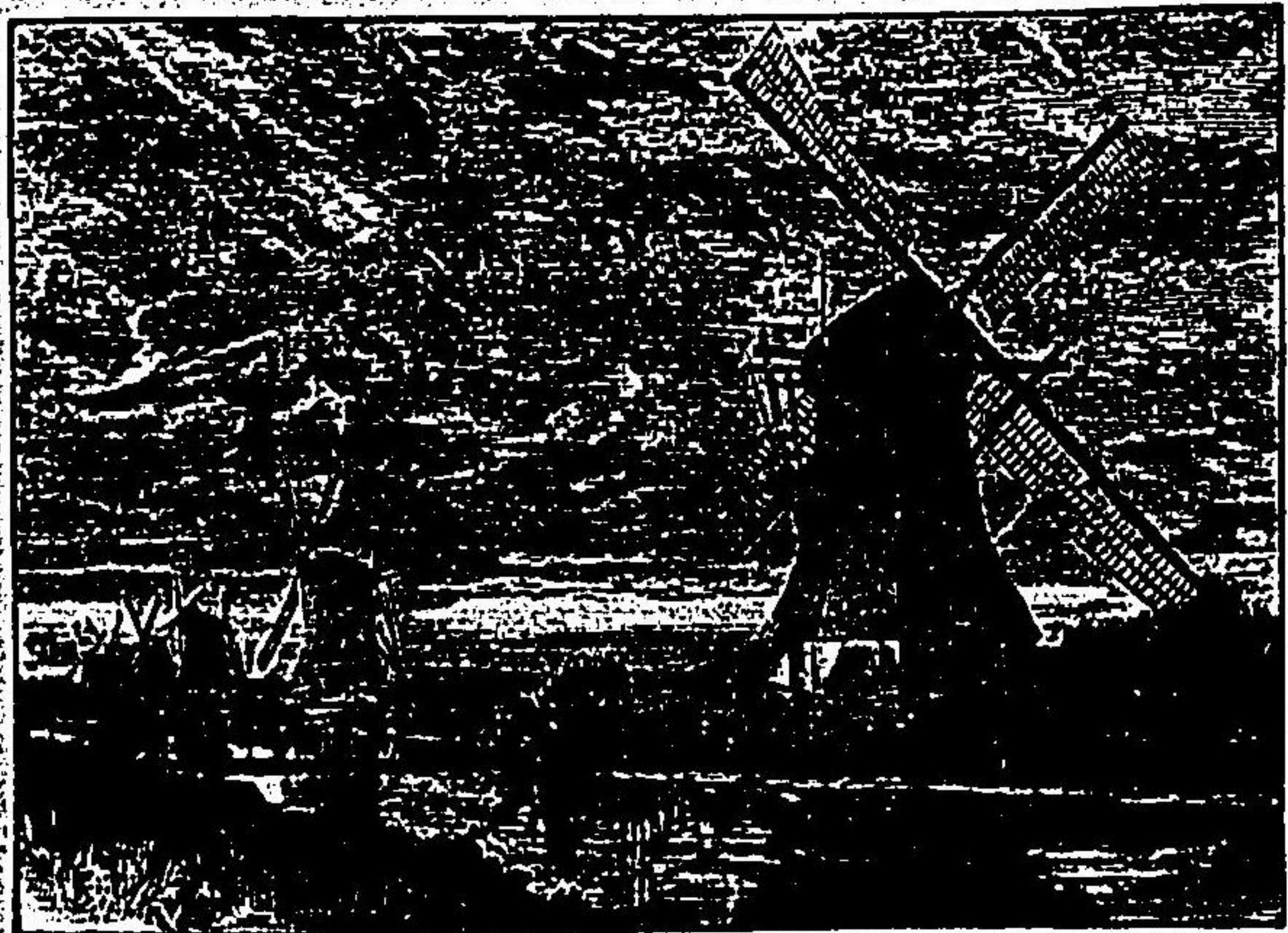
首府ブラスセルは、國の中央にあり。鐵道および運河の要地を占め、貿易甚だ盛んにて、市街よく整ふにより、北方小巴里の稱あり、人口四十八萬を有す。盛んに絨氈、麻布、レースを製出

す。アントワープは、北海岸の良港にて、歐洲大港の一に位し、貿易極めて盛んに、わが領事館をおく。オートルローは、ブラッセルの南方にあり。佛帝ナポレオン第一世が、歐洲各國の聯合軍と激戦して、遂に大敗したる古戰場にて、歷史上有名の處なり。機械製造に盛んなるリエージュ。綿布毛織レース製造の盛んなるゲント。ウルウェークリン。いづれも有名なり。

第八章 和蘭

地勢

和蘭は、歐洲の西部にある王國にて、面積二千二百方里、大略



風車に水で排すの圖

わが九州に等し。歐洲第一の低地なり。全國の過半は、海面より低けれども、海岸には、浪と風との力にて、打寄せたる沙丘あひ連り、また人工にて築きたる堤防もありて、巧に海水の浸入を防げり。處によりては、唧筒または風車にて、日夜水を排出し、僅に海底となるを防ぎ居るもあり。ラインシの大河は、獨

氣候

逸より來りて、海に注ぎ、その他運河八方に通じて、運輸交通極めて便なり。國中山と稱すべきものなし。

産物

海岸地方は、氣候溫和なれども、内地は寒氣強く、河水も氷結す。霧の深きこと英國と同じく、晴天の日は、一年僅に四十日を出でず。國民は勤勉にて、よく農業を勵むにより、農産頗る發達し、麥・馬鈴薯等の産多く、殊に牧畜盛んにて、牛・馬・牛酪・乾酪を産すること夥し。また釀酒・造船・漁業も盛んなり。わが國より、米・陶器・漆器を輸入す。

住民

住民は、ナウトシ種に屬し、忍耐勤勉の性に富み、愛國心深し。人口五百萬あり。教育は、普及して、著名のライデン大學校あり。宗教は、新教を奉ずるもの多し。

政治

政治は、立憲君主國にて、上下兩院の議會あり。もと、白耳義と

交通

合併せしが、今より六十年前分離して、別に一王國を建てたり。交通機關悉く備はり、水にはライン河の本支流によりて、獨逸・白耳義の二國と汽船の往來自在なるのみならず、内地は運河に、外國は海港に、舟運の便極めてよく、陸には鐵道四通して、運輸交通最も便なり。郵便・電信のごときは、國中到らざる處なし。國民敢爲の氣象に富み、古來海外に航行して、盛んに貿易をなし、また領土を擴めたること多し。わが國へも、數百年前より、往來して貿易せり。わが國へ始めて、西洋文明を輸入したるは、全くこの國なり。近來は、英國等に壓倒せられて、その商權を奪はれたるは惜むべし。

首府を、ヘーグといふ。西海岸を距ること一里餘の地にあり。王宮・政府・議院等あり。わが公使館もここにあり。數年前萬國

都會

殖民地

平和會議のありし所にて、その名萬國に轟けり。人口二十萬を有す。アムステルダムは、ゾイデルシール灣の西岸にあり。人口五十萬を有す。和蘭第一の大都會にて、溝渠八方に通じ、運輸交通の便を極め、貿易繁盛、工業發達し、實に歐洲貿易の大中心地なり。ロテルダムは、ライン河口の貿易港にて、歐洲中部諸國より、ライン河によりて、大西洋に出づる要路なれば、市況頗る賑へり。

この國は、昔は海外に莫大の領土を有せしが、今は大いに減少したれども、なほ本國の面積に五倍す。獨逸と白耳義との間には、ルクセンブルク州あり。大洋洲には、ジャスマタラ・ボルネオ・セレベス・ニューギニア等の諸島あり。亞弗利加・亞米利加の二大洲中にも、殖民地少なからず。今日英國の領土なる

オーストラリアのごときも、もとの國人の發見したるものにて、ニューオランダと稱せしものなり。

第九章 英吉利

四圖

英吉利は、歐羅巴大陸の西北に横はる大小三島より成る。その大なるをグレートブリタインといひ、小なるをアイルランドといふ。その他沿海の附屬島嶼五百餘を合せて、グレートブリタインおよびアイルランド聯合王國といふ。セント・ジューズ海峽、北海、北海を挟みて、二島あひ對す。面積二萬方里あり。東は北海に臨み、南は英吉利海峽を隔てて、佛蘭西とあひ望む。海峽の最も狭き處を、ドーバー海峽といひ、その幅僅に九里に過ぎず。西は渺々たる大西洋に面す。されば西歐地方軍事上の海上權を制すべき好位置にあるのみならず、北米大洲の貿易要路の衝に當り、富強世界に冠たる所以なり。

地勢

グレン・下ブリタインは、地勢上三部に大別す。イングラント・ウールズ・スコットランドこれなり。ナビオットの連岡北部を横断して、イングラントとスコットランドとの界をなし、その餘脈南に延び、西南隅に至りて、更にウールズを分割す。イングラントは島の中部および東南を占むる大地方にて、肥沃の平原あり、連り國中第一繁昌の地なり。スコットランドはイングラントの北に接し、ウールズはイングラントの西南隅にあり、いづれも山多く平地少なし。アイルランドはクレイトブリタインの西にあり。アイルシ海を隔てて、イングラントの西岸とあり、島の周囲は山多く中間に平原を存し、シン・ノン・河この間を流る。

河流

この國の河は、多くは流勢緩く水深く、河口廣くて、大船を上

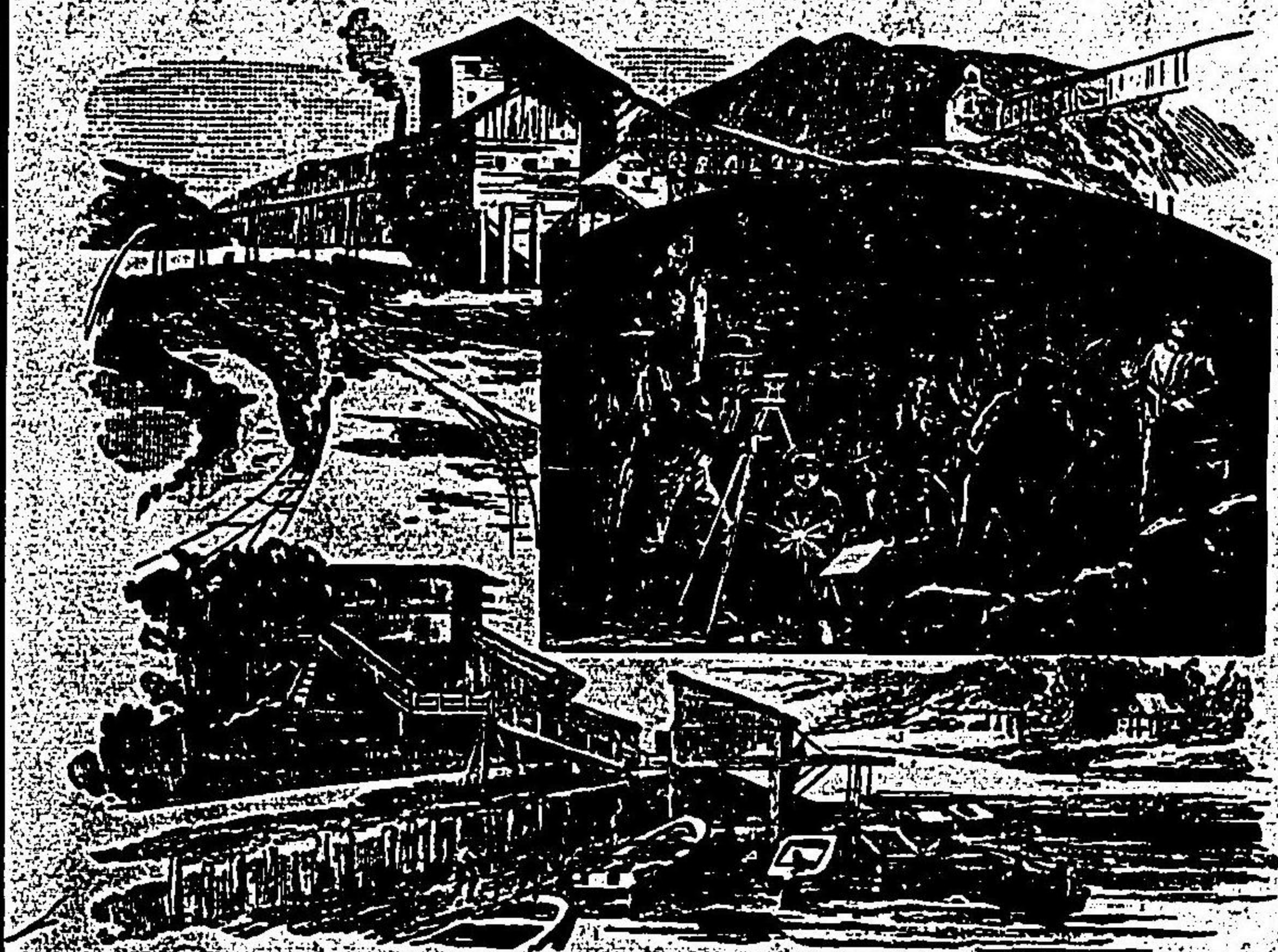
下するに便なり。中にも著名なるをティムス河とす。流程八十里の中六十里は航行すべく、かつその流極めて緩にて、潮流の遡ること遠ければ、大船もこの満干に乗じ、帆權等を用ひずして、自在に上下することを得べし。ハンバー・セバーンの兩河も、重要な河流なり。全國の海岸屈曲多く、全長三千里にて、良港灣に富み、交通貿易の便利なること、歐洲第一に位す。

氣候

この國の緯度は、わが千島より高けれども、熱帶より來る潮流の海岸を洗ふにより、氣候中和を得て、わが東北地方の溫度に等しく、寒暑の差も極めて少なければ、人の生活にも、農産にも甚だ適す。然れども水蒸氣甚だ多く、濃霧濛々として青天を見ること少なし。

産物

耕作の方法完備して、穀物の産出多く、小麦・馬鈴薯は特に有名なり。小麦は大島の東部に産し、燕麥は到る處に生ず。小島は馬鈴薯の産地なり。然れども耕地反別少なく、人口非常に多ければ、土産は國民の食料に充るに足らず。家畜も飼養法發達し、良種の産多し。鑛物は、この國の世界に雄飛する財源にて、殊に鐵と石炭とに



石炭坑

富み、石炭は世界の産額の半に達し、鐵は歐洲産額の半を占む。マンチン、タズ、ターリ、トツ、ニ、カスル、バーミンガムの炭田無限なり。この國の貿易に、工業に、世界第一流の位置を占むるは、實にこの二鑛の賜なり。その他錫、銅、鉛、亞鉛等の産あり。工業品は、綿布を第一とし、次を毛織物、麻布、絹布等とす。また金屬工業品は、細小なる縫針より、壯大なる軍艦に至るまで、産出せざるものなし。鑛物の多き、交通の便なる、販路の廣き、資金の裕なる、器械の精良なる、國民の起業に熱心にて、工業に熟達せる等、工業上の要素一も缺くることなき國なれば、世界第一の名譽を得るも、當然のことなり。また造船業の盛んなるも、世界に肩を比ぶる國なし。この國はもとより綿を

住民

産せざるに、綿布の製造かくのごとく多きは、その原料を殖民地または他國より輸入して、これを製造し、更にこれを輸出するものなり。これによりて、いかに工業の盛んなるかを見るに足るべし。

住民は、イングラントは多く、ナウトン人種に屬し、他はナウトン・ケルツの兩種を混ず。天性著實にて、忍耐力に富み、敢爲の氣象と勤勉の美風とを備へたれば、著手したる事業は、悉く成功し、陸には世界各地に領土を擴め、水には海上王の名譽を博せり。人口三千九百萬あり。普通教育は、佛獨の二國に一著を輸すれども、高等教育は、頗る盛んにて、多くの大學者輩出せり。特にオクスフォード、ケンブリッジ、エヂンバラ等の大學は、世界に名高く、わが國の學生も、あまた留學す。宗教は、

政治

大抵新教を奉ずれども、ひとりアイルランド人は舊教を信ず。

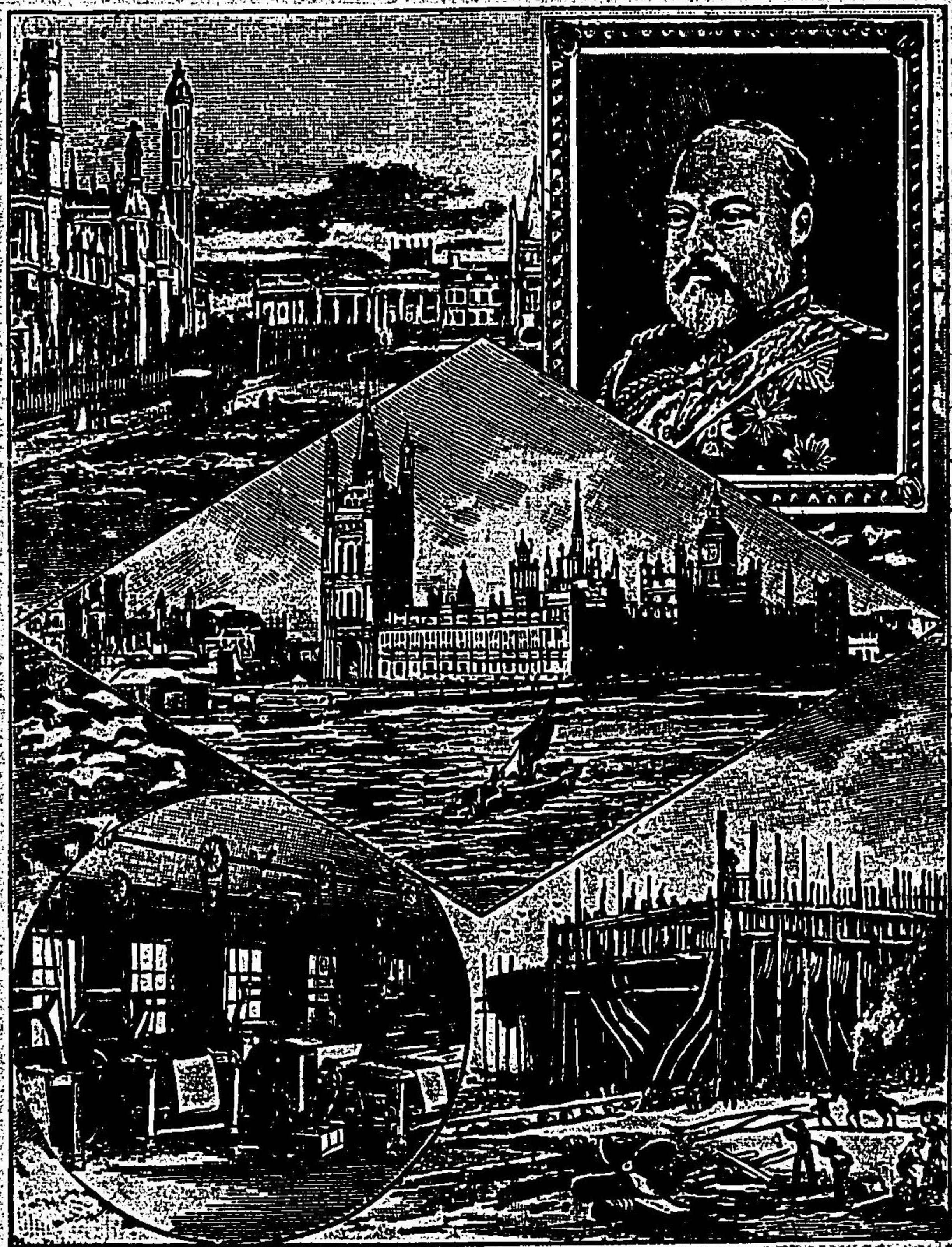
政治は、立憲政體なり。この國は、立憲政治を施したる元祖にて、今日世界の立憲政治國は、皆この國を學びたるものなり。議會は上下兩院より成る。軍備は海軍を主とし、その艦隊の優勢なると、水兵の熟練とは、世界に名高し。軍艦の總數は、五百隻に餘り、排水一萬噸以上の大艦四十餘隻を有し、二百五十餘隻の軍艦を常に海外に派遣して、武威を世界に輝かす。海上王の名空しからずといふべし。陸軍は、常備兵數は僅に十萬餘のみ。その屬地殖民地の兵を合するも、二十二萬餘に過ぎざれど、戦時には七十四萬の兵を出だすことを得べし。交通は、内地には、河流と運河と鐵道との全國に連絡するあ

交通

貿易

都會

り。運輸往來ともに便利を極む。郵便・電信のごときは、内外にわたれり。海運の盛んなるは、世界第一にて、五大洲中の埠頭に、英國船の絶ゆる時なし。従ひて貿易の盛んなること世
 界第一にて、綿布・毛織物・金屬器・器械類の輸出夥し。輸入品は、綿・烟草・藥品・飲料水・染料等なり。わが國へは、綿・絲・綿布・羅紗・器械等を輸入す。邦人の常服なる綿布は、この國のマンチンスタ
 ーにて製する綿絲より成るもの多し。いはゆる唐絲・これなり。わが國より輸入するは、生絲・米・羽二重・銅等とす。日本郵船會社の汽船も、ロンドンに定期寄港す。
 イングランドの南方テリムス河畔なるロンドンには、英國の首府にて、市街の面積十八方里、人口四百七十萬を有し。實に世界第一の大都會なり。市街熱鬧にて、車馬の絡繹する、貿易



英國議事院大學士之造船所

の繁昌にて、工業の盛大なるのみならず、實に世界貿易の中心にて、その動靜は世界の商況に影響すること頗る大いなり。皇居・諸官衙・議院・博物館・寺院等巨大壯麗なる建物多し。名士の葬られむことを欲するウ・ス・ト・ミ・ン・ス・タ・ー・寺も府中にあり。グ・リ・ニ・チは、有名なる天文臺所在地にて、萬國子午線の基點なり。リ・バ・ー・プ・ールは、西海岸にある要港にて、米國より綿を輸入し、これを綿布に製して、再び輸出する處なり。この邊海濱は、風景に富む。マ・ン・チ・エ・ス・タ・ーは、リ・バ・ー・プ・ールの東にあり。世界第一の綿布製造地にて、リ・ー・ヅは、毛織物、シ・エ・プ・イ・ル・ドは、刀物の製造盛んに、ハ・ルは北歐諸國との貿易場なり。パ・ー・ミ・ン・ガ・ムは、鐵器製造も世界に冠たり。また、玻璃および大砲の製造も盛んなり。ポ・ル・ツ・マ・ウ・スは、世界最大の軍港なり。

リ・サ・ウ・サ・ン・ブ・ト・ン・ブ・リ・ス・ト・ルいづれも貿易盛んにて、北方のニ・ー・カ・ス・ルは造船業盛んなり。ス・コ・ト・ラ・ン・ドの首府を、エ・ヂ・ム・バ・ラといふ。文學の盛んになると、風景の美なるとに名高し。グ・ラ・ス・ゴ・ーは、織物・船舶等の製造盛んなり。ア・イル・ラ・ン・ドの首府ダ・ブ・リ・ンは、東海岸にあり。山水の風景に富む。また有名の大學校あり。

國民は、敢爲冒險の氣象に富むにより、海外に殖民地または屬地を有すること、世界第一にて、五大洲中到る處に領土ありて、世界陸地の六分の一を占め、領土内の人口は三億餘萬に上り、その國語は、世界の通語ともいふべく、歐洲五大強國の首位に班す。されば國人は領土内に太陽の没することなく、また他國の地を経ずして、世界を一週することを得へし。

と誇稱す。

この國は今より一千四百餘年前に、アングロサクソン人がブリタインの東南部を占領して、イングランドと名づけたる頃は、國內數多の小國分立せしが、その後六百年を経て、佛國のウリアム帝に征服せられ、また二百餘年を経て、ウエールスを併せ、また四百餘年の後、スコットランドと合併せり、アイルランドは、殆どイングランドと同時に征服せられしものなれども、なほ別立の姿ありしが、今より百年前に至り、遂に合併して、現今の聯合王國となりしなり。

第十章 佛蘭西

位置

南に地中海を帯び、海中にナポレオン一世の生地なるヨルシカ島を領し、イベリア半島に連り、西は大西洋に臨み、ビスケイ灣をいだき、北は英吉利海峽を隔てて、英吉利と近くあり、東は伊瑞獨白の四國に連り、地勢の宜しきを得たること、歐洲に冠たるものを、佛蘭西國とす。面積三萬四千方里あり。

地勢

東境に、アルプス山脈あり、西南にピレニース山脈あるにより、東南の地勢は高峻なれども、他は一般に低平にて、大西洋に傾斜す。肥沃の農産場なり。世にこれを佛蘭西平原といふ。モ・ス・ロ・ア・ル・ガ・ロ・ン・の三大河は、この間を流れて、大西洋

に注ぐ、ともに水深く、流緩く、灌溉運輸の便多ければ、沿岸には繁盛の都會甚だ多し。この國の發達は、この三大河の助によること少なからず。ローヌ河は、南方の高地を流れて、地中海に入る。水勢頗る急なり。

温帶の中央に位するゆるぎ、氣候中和を得て、寒暑共に烈しからず。年中天氣晴朗にて、歐洲第一爽快の國なり。降雨も適度なれば、農産極めて豊にて、この國の富源をなし、穀物、林檎、葡萄、橄欖等の産出夥し。穀物は地方の産最も多く、地中海沿岸の地は、玉蜀黍、橄欖を産し、北東のシ・ン・バ・ー地方は有名なるシ・ン・パン酒を出だす。殊に葡萄の栽培は、到る處に行はれ、葡萄酒の醸造は、世界に冠たり。家禽の飼養法頗る進歩し、鶏卵の輸出多し。また牧羊も盛んに行はる。鑛物は鐵、石炭を第

氣候

産物

住民

政治

一とし、多く東北境に産す。國民意匠に巧にて、華奢の美術品の製出多く、絹布の製造は、世界に肩を比ぶる國なし。毛布、綿布の産出も莫大なり。

住民は、ラテン・ナウトンの雜種にて、少數のケルト種あり。性快活敏捷にて愛國心深けれども、輕佻にて忍耐力乏しく、かつ豪奢を競ひ、新奇に走るの弊あり。普通教育は、獨逸に一著を輸すれども、高等教育は、甚だ盛んにて、古來多くの大學者を出だせり。文藝、美術等も盛大を極む。宗教は大抵舊教を奉ずれども、稀に新教信徒あり。人口は三千八百五十萬あり。政治は、國體と共に數度變革せしが、一千八百七十年以來、今の共和政治となりたり。議會は、代議院と元老院との二院より成る。大統領は、議會にて選舉す。その任期は七年なり。政事

交通

上競争の烈しきこと、他國に類なし。兵制は、全國皆兵の制なり。陸軍は常備兵五十五萬、軍馬十二萬あり。戦時には、四百三十五萬の兵を出だすことを得へし。海軍は、二百八十隻の軍艦あり。この中一萬噸以上の大艦二十隻あり。

交通機關の完備せることは、歐洲第一にて、鐵道は蜘蛛の網のごとく、國の内外に貫通し、河流と運河とは普く連絡し、地中海と大西洋との間、航行自在なり。郵便・電信のごときは、いふまでもなし。位置すでに形勝の地を占め、交通機關かくのごとく完備すれば、貿易の盛んなること、固より論なし。主なる輸出品は、絹布その他の織物、葡萄酒、美術品等にて、輸入品は、食料品および製造の原料とす。おが國へは、葡萄酒、織物、兵器等を輸出し、生絲、羽二重、雜貨等を輸入す。

貿易

都會

第二はニュー
ヨークなり

首府バリーは、國の北部にあり。セーヌ河に跨り、人口二百五十萬を有し、世界第三の大都會なり。市街端正にて、家屋の壯麗なること、華奢風の流なること、いづれも世界無比にて、衣服その他の流行形は、すべてこの地より始まり、日々新を競へり。文學技藝も、その



ナポレオン一世と凱旋門

淵叢と稱せらる。公園の清雅なる、博物館、圖書館その他の建築物の壯大なる、市街の賑はしき、車馬行人の多き、すべて目を驚かさざるものなし。府の周圍は、堅固なる城壁を繞らせり。府の近傍に、有名なるヴェルサーユ宮殿あり。ルーアンは、綿布製造の盛んなる地にて、アールは貿易港なり。ロワール河畔のオルレアン、トゥール皆有名なり。リオンは、ロイン河畔にあり。人口四十七萬を有す。世界第一の絹布製造地なり。マルセイユは、地中海の一大要港にて、亞細亞、亞非利加および地中海沿岸諸國の貨物集散地なり。横濱より航程およそ九千裡あり。ポルドーは、ガロン河口にあり。各種の酒類を出だす。中にも葡萄酒の輸出盛んなり。

この國は、海外の屬地、保護國等多し。各大洲に散在し、その面

積四十三萬方里に及び、人口三千一百餘萬あり。

イベリア半島

歐洲の西南端に、人頭の形をなして、突出するをイベリア半島とす。中に西班牙、葡萄牙の二國あり。葡萄牙は西海岸の一部を占め、他は悉く西班牙に屬す。この二國は今より一千百餘年前回教徒の侵入せし後、數百年間は小邦並立の有様なりしが、回教徒の漸く衰滅するに及び、始めて二王國を成して、今日に至れり。

第十一章 西班牙

四圖

西班牙は、イペリア半島の東大部分を占め、北の半はピレニ
 ース山脈にて佛國に界し、半はビスケー灣に臨み、東は地中
 海に沿ひ、南はジブラルタル海峡を隔てて、亞非利加洲に對
 し、西は葡萄牙に接し、その一部は、大西洋に面す。面積三萬三
 千方里あり。

地勢

ピレニース・カンタブリアン等の山脈北方に連り、その餘脈
 國中にわたりて、二千尺以上の高原をなす。高原の中央は、自
 然に分水をなし、河流は東西に流下す。その西流するものは
 ド・ロ・テ・ガ・ス・グ・ア・ダ・ア・ナ・グ・ア・ダ・ク・イルの諸大河にて、東
 流するは、エ・ブ・ロ・河なり。ジ・ブ・ラ・ル・タルは、地中海の咽喉にて、



氣候

海峽の幅僅に八里に過ぎ
 ず。今は英國の領土に歸し、
 堅固なる砲臺を設く。その
 西方ト・ラ・フル・ガル岬は、ホ
 ルソン將軍の武名を輝か
 しし所なり。地中海には、バ
 リ・ア・ク諸島あり。
 氣候寒暑共に烈し、高地に
 て雨少なければなり。海岸
 はやや温暖にて、降雨も少
 なからず。この國は、山林は
 悉く伐木して、水源を涸ら

産物

したれば、大河はありながら、水量少なく、灌漑運輸ともに十分ならず。かつ雨少なく、土地甚だ瘠せ、農産物多からず。ただ栓木・栗・橄欖は風土に適し、また葡萄の栽培も盛んなり。南部には、米の産あり。畜類には、綿羊・山羊・牛・馬を出だし、鑛物は、水銀と鐵とを産す。工業は、見るべきものなし。

住民

住民は、ラテン・サウトン・ケルトの雜種なり。その性風雅にて、歌舞を好み、頗る懶惰の風あり。教育は、いまだ普及せず。宗教は舊教を奉ず。人口一千八百萬あり。

政治

政治は、立憲政體なり。議院は上下の二院あり。すべて英國の風に倣へり。陸軍は常備兵數十二萬餘にて、海軍は五十餘隻の軍艦を有す。この國は佛國と同じく好位置を占めたるに、より、昔時は軍事・商業ともに盛んにて、かの亞米利加の發見

國勢

都會

貿易

喜望峯の回航のごとき大事業を成し、大いに殖民地を海外に擴めたりしが、その後國運次第に衰へて、多く殖民地を失ひ、近年に至り、また南洋のフリーデン群島と西印度のキバ島とを北米合衆國に割讓し、國內にも内訌絶えずして、國運いよいよ衰退せり。従ひて貿易も振はず、内地の交通も十分ならず。主なる輸出品は、葡萄酒・橄欖油・水銀・羊毛・栓木等にて、輸入品は綿・穀類・烟草・石灰・金屬器等とす。

首府マドリッドは、國の中央なる高原上にあり。人口五十萬を有す。壯麗なる王宮と世界第一の美術館とあり。この地に闘牛の戲ありて壯觀なり。わが公使館もここにありて、葡萄牙國を兼務す。バルセロナは地中海濱の要港なり。人口五十萬あり。織物の業盛んにて、貿易も多額に上れり。バレンシヤは、

織物の産盛んに、グラナダには有名なるアルハンブラ宮殿あり。カデズ、セビル、コルドバは、いづれも名地とす。

第十二章 葡萄牙

地勢

葡萄牙は、東および北は、西班牙國界の山脈を繞らし、西南に傾斜して大西洋に向ふ。沿海には平地多し。面積五千九百方里あり。河は多く、西班牙より來り、西流して大西洋に注ぐ。水利多し。人口五百萬あり。

産物

東部は寒暑ともに強けれども、他は氣候溫和にて雨量多し。産物は、葡萄、果實、栓木等を主とす。米、麥の産あり。また最良の食鹽を産す。沿海は漁利少なからず。

住民

住民は、種族、宗教、風俗とも、西班牙に同じ。もと言語も同一なりしが、年來不和なりしたために、今は言語あひ通ぜざるに至れり。

政治

都會

政治も沿革も西班牙と同一の歴史を有し、今昔の國運より、殖民地の増減まで殆ど同一なり。

首府リスボンは、テージガス河口にあり、人口三十萬を有す。昔は繁盛なる貿易場なりしが、今は全く衰へたり。オポルトは、有名なる葡萄酒を輸出する要港なり。

第十三章 伊太利

地勢

伊太利は、南歐羅巴の中央にあり。長靴狀をなして、地中海に突出する半島國なり。面積一萬八千方里あり。南方のシシリ、小西方のサルジニア等の諸島これに屬す。

アルプス山脈西北境を限り、その餘脈なるアペニン山脈は、南走して國の脊梁をなし、更に海峽を超えて、シシリ島に連る。島中のエトナ山は、世に地中海の燈臺と稱せらるる有名の活火山なり。内地のベスビオ山も有名の活火山とす。地形狭く傾斜急なるがゆゑに、河は急流にて、長大なるものなし。ただ北方のポノ河はやや大にて、ロンバルデー平原をして、國の寶庫たらしむ。然れどもまた急流なれば、舟運の便多

氣候

からず。

氣候溫和空氣清淨にて、四季ともに春のごとく、水碧に、花紅に、山笑ひ、鳥歌ふの風景は、世界に比類多からざるにより、世に呼びて世界の樂園といふ。然れども北部は、寒氣甚だ強し。また南方の夏季は、亞非利加大陸より吹き來るシロコと呼稱する熱風のために、動植物を害せらるることあり。ロシヤルザー平原、および海岸地方は、肥沃にて、農産物多く、玉蜀黍米、小麥の耕作盛んなり。アペニン山地には、葡萄の栽培盛んに、葡萄酒の産多し。北部は、牧畜、養蠶盛んに、生絲、織物、牛酪、乾酪を出だし、南部には、橄欖、無花果を産す。中にも、生絲は、歐洲第一なり、またカララの大理石、シシリ島の硫黄、ナポリオン第一世の配所なりしエルバ島の鐵等の名産あり。工業器に

産物

住民

は造花、麥稈帽、樂器等あり。

住民は、ラテン種を多しとす。他に數種族あり。人口は三千二百餘萬あり。國民一般に美術に長じ、古來有名なる繪畫、彫刻、建築物等多く、從ひて性質柔弱浮華なるを免れず。教育は二十餘の大學ありて、高等教育は進歩したれども、小學校の設少なくして、國民教育はいまだ普及せず。宗教は羅馬教の本據の地なれば、一般に舊教を奉ず。

政治

政治は、立憲君主政體にて、議會は上下の二院より成る。陸軍は常備兵數二十五萬餘、海軍は二百五十隻の軍艦あり。もと久しく多くの小邦に分裂せしが、今より四十年前に、サルヂニア王起りて、遂にこれを征服し、伊太利王國を建設せり。爾來明君あひ續ぎ、國勢大いに振ひ、遂に從來の歐洲五強國に

交通

貿易

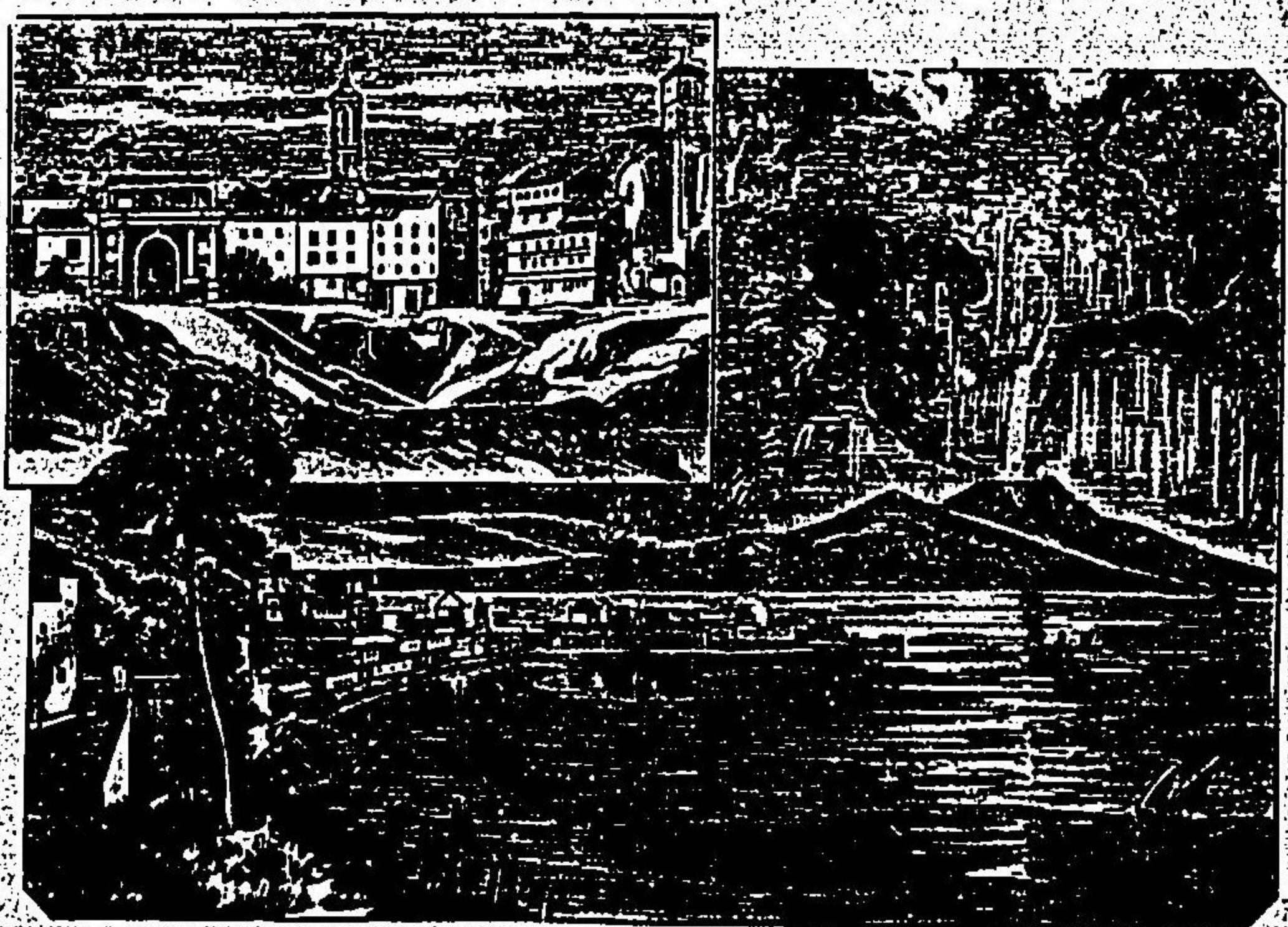
都會

この國を加へて、六強國と稱するに至れり、然れども、海軍の擴張度に過ぎ、ために國帑を費すこと甚しといふ。

半島國の常として、海岸線長く、良港灣ありて、海運の業盛んなり。河流は、水運少なければ、鐵道普く通じ、アルプスの大山脈も、隧道を作りて、六條の鐵道を通じ、郵便・電信は、普く行きわたれり。主なる輸出品は、生絲・果實・葡萄酒・橄欖油等にて、輸入品は、穀物・酒精・木材・綿等とす。

首府羅馬は、西海濱のタイバー河畔にあり。古來多くの歴史を有する著名の都會にて、嘗て羅馬帝國の首府となり、後羅馬法皇の都となれり。されば、宮殿その他建築物の美麗壯大なるものより、名所古跡等極めて多ければ、萬國の遊人常に來り集れり。人口五十萬あり。ネーブルスは、南方の海岸にあ

り。國中第一の大都會にて、人口五十四萬あり。この近傍にベスピオ火山噴出の時、埋没せられたる都市ありしが、その一なるポンペイは、近年に至りて、地下より發見せられたり。フロレンスは、嘗て首府たりしことあり。ゼノアは、地中海の要港にて、コロンブスの生地なり。ナウリンは、サルシニア王の古都。ミランは、山外諸國と陸上貿易の地とす。



マ・ロ　スル　ブ　イ　ネ

島

ニス・は、アドリアナク海畔にあり。古來有名の貿易港なり。市街は縦横に貫流する河に沿ひて建ち、道路は即ち河流にて、往來はすべて舟によるゆるゑ、恰も水中に浮ぶがごとくにて、世界の一奇觀なり。

シン・リー島は、地中海の最大島にて、もと羅馬の穀倉と稱せられしほど豊饒なりしが、いまは大いに荒蕪せり。されど葡萄、橄欖、硫黃等を産す。サルジニア島は、森林に富み、土地膏腴なり。サルジニア島は、現國王家の出所なり。

第十四章 奥地利 匈牙利

歐洲五強國の一にて、南歐羅巴の東方に雄視する大國を、奥地利帝國および匈牙利王國の聯合國とす。露、獨、瑞、伊の四國およびバルカン半島諸國の間に介在し、西南の一部は、アドリアナク海に臨む。面積四萬五百方里あり。奥國十七州その北部を占め、匈國の四州は、中央以南にあり。別にボスニア、ヘルゼゴヴィナの二州ありて、南部を占む。この二州はもと土耳其の領地なりしを、わが明治十年露土戦争の後、ベルリン會議の結果、この國の支配となれり。

西にアルプス山脈の餘派あり。東にカルパチン山脈ありて、全國中山地ならざるは、ただダニュープ河の平原と、東部露國

地勢

に接する平原とあるのみ。ダニューブ河の平原は、匈牙利の大
半を占め、運輸灌漑ともに便利にて、氣候溫和に、地味肥え、歐
洲の大農産場なり。よりてこの國をダニューブ帝國と呼ぶに
至れり。

この國は、沿海の地少なく、大陸間に介在するにより、いはゆる
大陸氣候にて、寒暑ともに烈し。雨量は平地に少なく、山地
に多し、産物は麥類、玉蜀黍、馬鈴薯、葡萄、麻の農産物あり。匈國
の麥は殊に良種とす。森林多く、牧畜も盛んにて、木材、牛、馬、羊、
豚、蜜蜂等の飼養法頗る進歩し、鑛物には、鐵、石炭、金等多く、工
業も大いに發達して、綿布、麻布、毛布、葡萄酒、玻璃等の産額夥
し。

住民は、ナウトンスラフ、蒙古等の數種ありて、その言語風俗、

氣候

産物

住民

習慣、皆異なり。概して都人士は溫雅にて、文化に進みたれど
も一般國民は、いまだ文化に潤はず。人口四千二百萬あり、教
育は、干涉主義を取り、宗教は、舊教盛んなり。

政治は、立憲政體にて、兩國各別に政府議會を設け、奧地利帝
は、兼て匈牙利國王の位に即きて、二國を統治す。聯合議會は、
兩國議會より各半數の議員を選出す。兵備は、陸軍を主とし、
國境の防備頗る嚴なり。常備兵三十五萬あり。戦時は百七十
五萬の兵を出だすへし。海軍は主とするにあらざれども、な
ほ軍艦運送船を合せて七百隻に上れり。

ダニューブ河は、歐洲第二に位する大河なれば、支流多く、運輸
極めて便利にて、東は黒海より、西北はエルベ河に連りて、北
海および大西洋まで、汽船を通ずべく、その他運河多く、鐵道

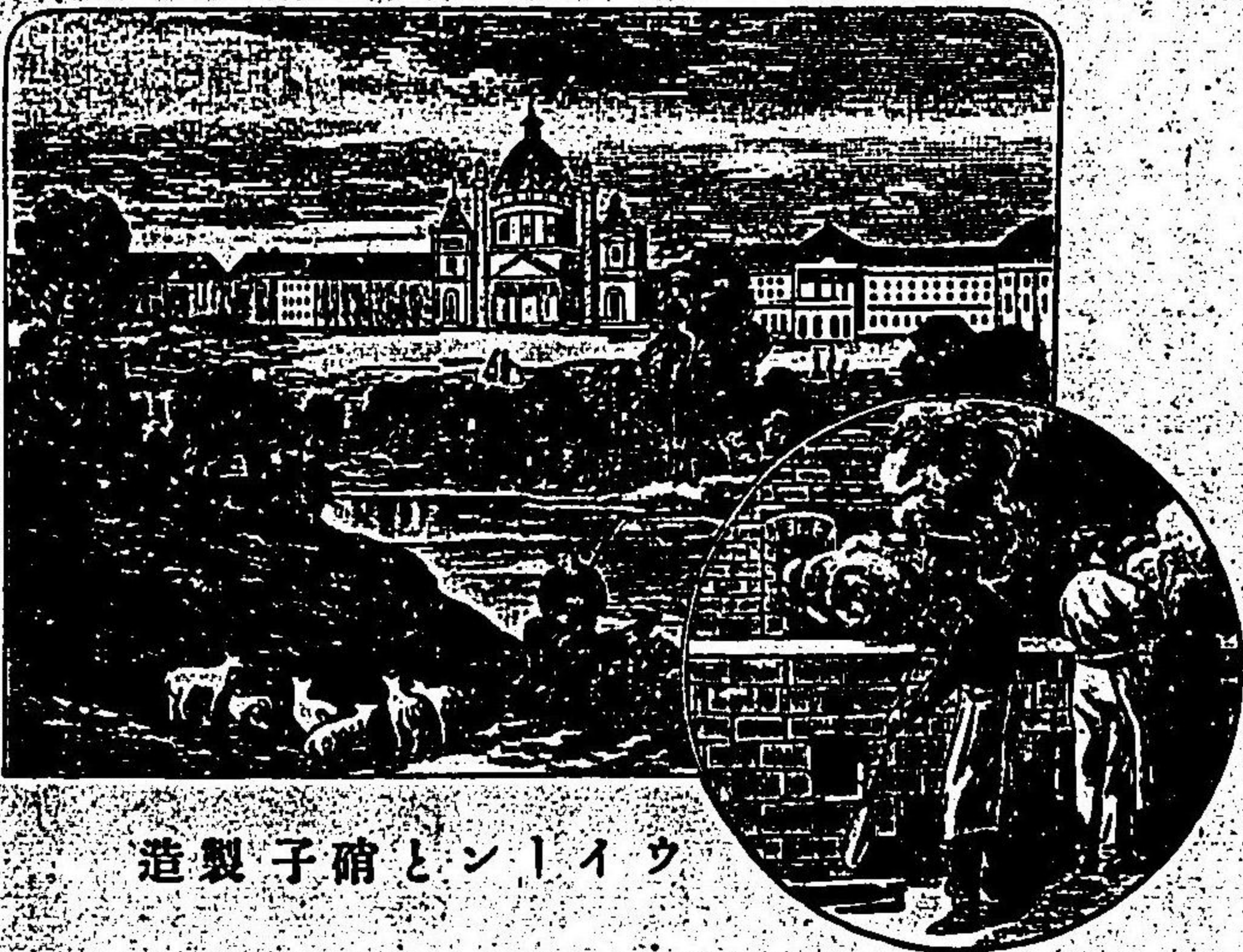
政治

交通

貿易

は四隣の各國に連絡したれば、運輸交通至便なり。獨逸と内地貿易盛んに行はれ、海外貿易は、トリエスト港においてす。

都會



造製子硝とンイウ

輸出の重要品は、穀物・麥粉・砂糖・破璃・葡萄酒・薪材・鑛物等にて輸入品は、羊毛・綿・烟草等なり。首府ウィーンは、ダニュープ河の南岸にあり。全國商業の中心にて、人口百三十五萬を有す。水陸の運輸便利にて、商工業ともに盛んなり。市街端正にて、帝宮・議院・大學・圖書館・博物館

館等、壯大の建物多し。わが公使館ここにあり。ブダペストは、匈牙利の首府なり。ダニュープ河に跨り、水陸の便よく、肥沃の農産場をひかへたれば、商工業盛んなり。人口五十萬あり。トリエストは、アドリアナック海岸にあり。當國唯一の貿易港なり。

第十五章 バルカン半島

バルカン半島は黒海と地中海との間に突出する地方なり。中に土耳其・希臘・ブルガリア（東ルーマニア）・羅馬ニア・塞爾維ヤ・モンテネグロの六國を包有す。この諸國はもと土耳其の領地なりしが、希臘は今より七十年前に獨立し、他の諸國はわが明治十年露土戦争の翌年、ベルリン條約によりて獨立せり。ただブルガリアは今も土耳其に朝貢す。これらの諸國は、亞細亞大陸に近く、人民も亞細亞より移住したるもの多く、宗教・風俗頗る混同し居るにより、騒動絶えず世にこれをバルカン事件と呼びて、歐洲諸國の厄介視するものなり。

第一節 土耳其

土耳其帝國は、その開祖の名によりて、一にオスマン帝國と稱す。東は黒海、マルモラ海、多島海を隔てて亞細亞に對し、南

氣候

産物

住民

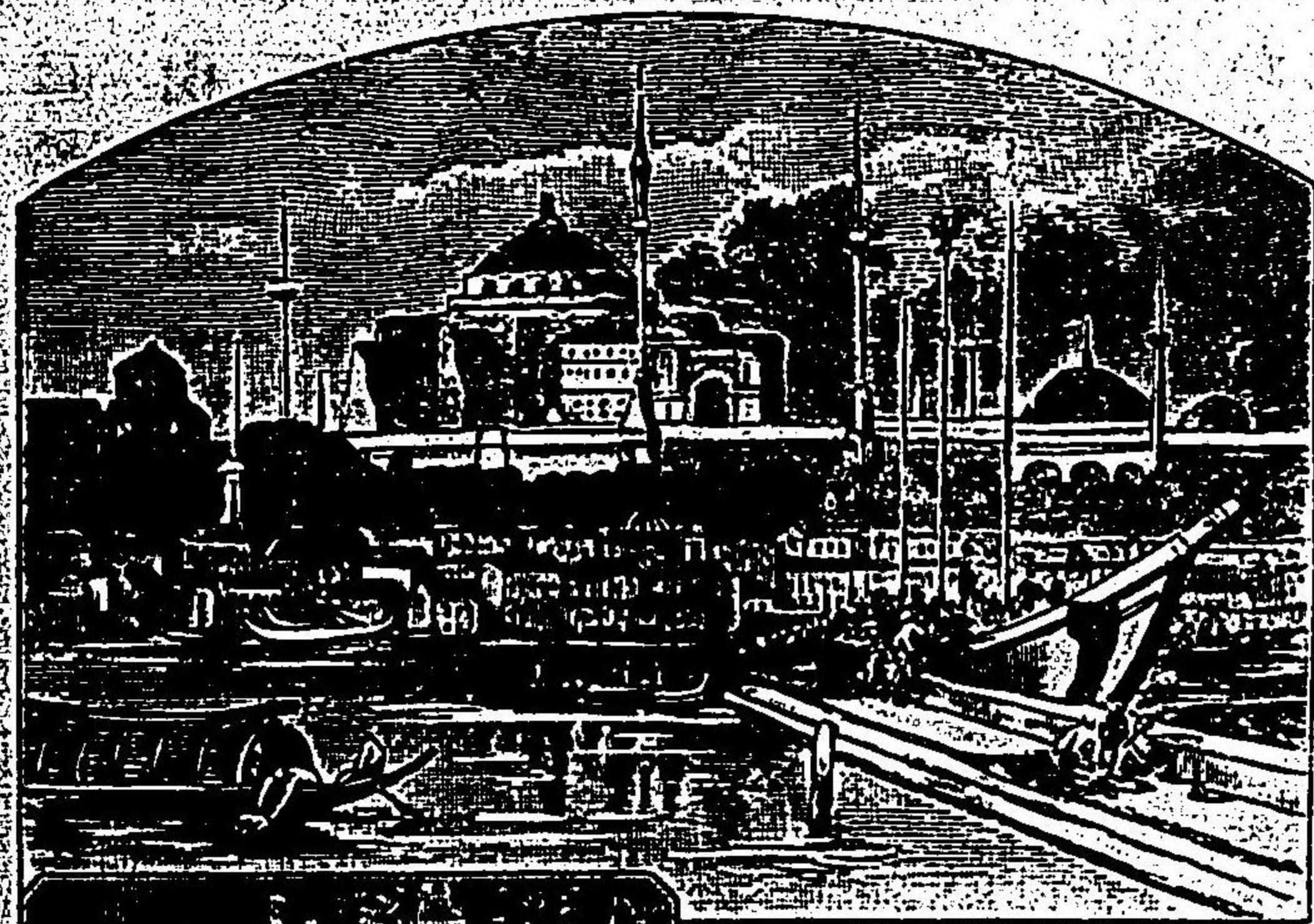
は希臘に連り、西はアドリア・イオニア海に臨み、北方はバルカン山脈諸國の界を限る。面積一萬二千方里あり。全國高地多く、平地は沿海の地方のみ、河は皆短く、舟運の便少なし。氣候は、海邊は溫暖なれども、内地は寒暑いつれも烈し。耕作法は幼稚なれども、平原は地味肥えて、穀物・果實・葡萄・烟草等の産多し。馬・山羊等の家畜より、綿布・毛布・生絲等の工業品も少なからず。住民は種々混合したれども、その原種は、中央亞細亞地方より移りたるものなれば、風俗・習慣すべて他の歐洲人と同じからず。宗教は回教を奉すること熱心なり。従ひて教育もその經典なるコーランを講讀するのみなりしが、近來は少しく改良して、大學以下の各學校を設けたり。人口九百三十萬

政治

あり。

政治は、君主專制にて、生殺與奪の全權、サルタン即ち皇帝に

ルブ・ノ・チン・タス・コ



土 耳 其 風 俗

の戦争以
來は、疲弊こ
とに甚しく、
國勢振はず
陸軍は常備
兵二十萬あ

あり。皇帝は回教祖マホメットの
教訓を奉じて政治をなす。
嘗て一たび憲法を制定した
りしも、實際に行はれず。露國

都會

り。海軍は數十隻の軍艦を有すれども、殆ど廢物なり。前年希臘と戦ひ勝ちて後幾分か國威を回復せり。

首府をコンスタンチノープルといふ。ボスポラス海峡の口にありて、黒海・マルモラ海の咽喉を扼し、商業上・軍事上・重要な位置を占め、往時は世界商業の中心たりしも、今は大いに衰へたり。人口はなほ八十七萬餘あり。アドリアノープルは、國內第二の都會なり。内地貿易の中心にて、香油の産多し。サロニカは、多島海岸の貿易港なり。交通機關はいまだ全く整頓せず。

國勢

この國は、往時は國勢甚だ盛んなりしかば、その領土は、今なほ亞細亞・亞弗利加・歐羅巴の三大洲に跨り、面積二十五萬方里、人口四千萬を有す。然れどもその名ありてその實なし。

第二節

ブルガリアは、土耳其の北隣ダニューブ河南にある侯國にて、ベルリン條約によりて、土耳其に朝貢する自治國となれり。面積五千方里あり。住民はスラブ種にて、農業および牧畜を營む。輸出品は小麥を主とす。首府をソフヤといふ。東ルーマニアは、土耳其とブルガリアとの中間にある小國なり。ブルガリアと同時に自治を許されしが、僅に十年にてブルガリアに合併せり。首府をフリベトといふ。

第三節

ルーマニア

ルーマニアは、ダニューブ河の北に位する立憲王國にて、もと

土耳其に屬せしが、千八百七十八年獨立せり。面積八千五百方里、略わが國の三分の二に當り、人口六百萬、ほぼわが八分の一に當る。西は高原にて、森林多く、石油、岩鹽等の礦物に富み、東部は平原にて、小麥、大麥、玉蜀黍等の農産物多し。牛、馬、羊等の牧畜甚だ盛んにて、國民は財源を家畜に仰ぐ。石油、岩鹽の産も少なからず。住民はスラブ種に屬し、宗教は希臘教または回教を奉ず。首府をブカレストといふ。ダニューブ河の北にあり。人口二十萬を有す。

第四節

塞爾維

塞爾維は、地、利の南に接する立憲小王國なり。もと土耳其に屬せしが、千八百七十八年獨立せり。面積は三千二千方里、

わが國の九分の一に當り。人口二百三十萬、わが二十分の一に當る。國中山多し、森林に富み、殊に檜樹多し。氣候寒暑いつれも強けれども、ダニュープ河畔は、地味一般に肥沃にて、農産物多く、豚・牛・羊は到る處に飼育せらる。住民はスラブ種多く、宗教は舊教を奉ず。首府ベルグ・レ・ドは、ダニュープ河畔にあり、貿易盛んなり。

第五節 モンテネグロ

塞爾維の西南にある最小の立憲王國なり。もと土耳其に屬せしが、千八百七十八年獨立せり。全國山多し、耕地極めて少なく、地味も瘠す。住民は多くスラブ種に屬し、節儉勤勉にて、勇悍の氣象に富み、獨立心甚だ強し。されば僅に面積六百方

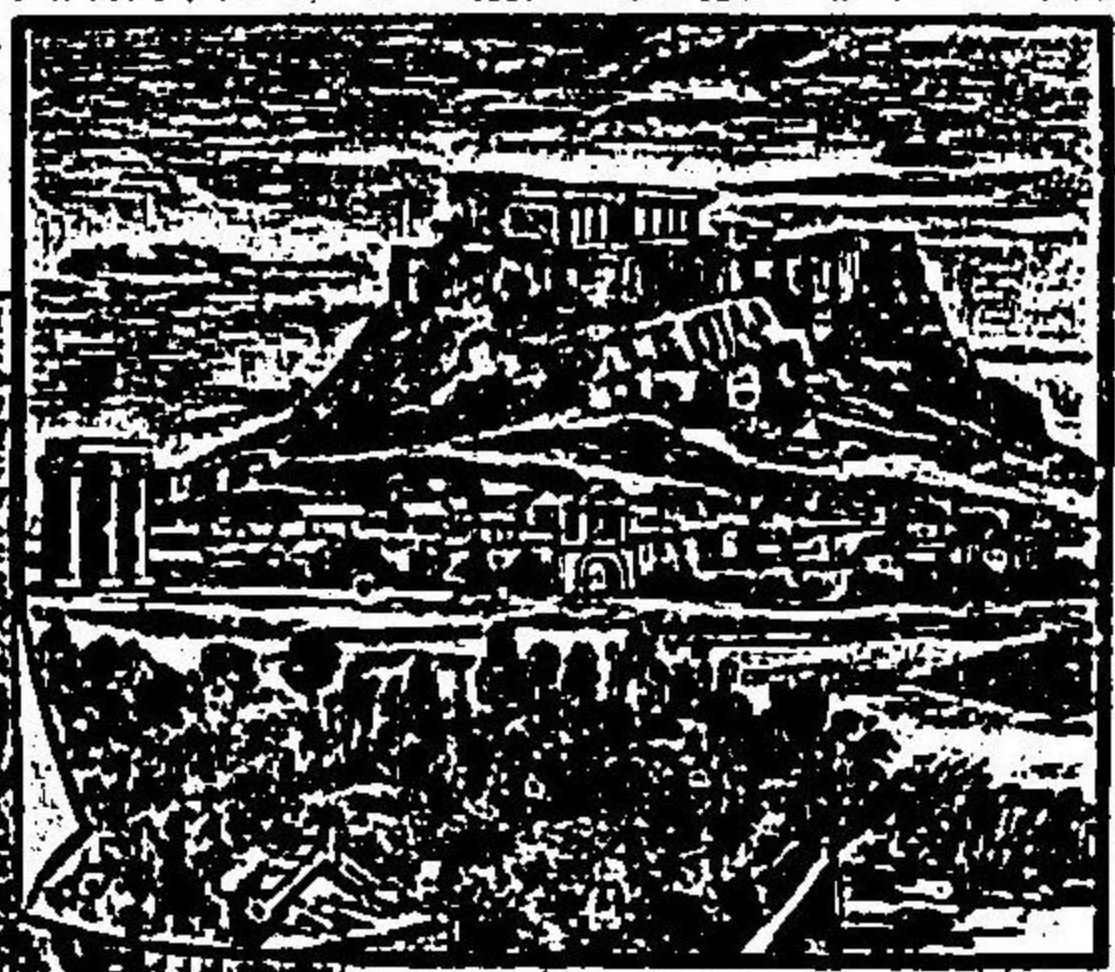
地勢

里、即ちわが四國の二分の一に當り、人口二十三萬、即ちわが神戸市の人口に過ぎざる。小地方ながら、大國の間に挟まりて、よく一國を成し、他の制裁をうけざるなり。生業は牧畜を主とし、宗教は希臘教を奉ず。首府をチエナジニといふ。

第六節 希臘

希臘は、バルカン半島の南端にありて、海中に突出する王國なり。もと土耳其に屬せしが、千八百三十年獨立せり。面積四千二百方里あり。海岸の屈曲多く、かつ地中海交通の要路に當りて、優勝の形勢を占む。この國中央は、東西よりイ・ジ・ナ・ユ・リスの二灣深入して、中間に細長の地峽をなし、地勢を南北に兩分して、北希臘およびモリアの二地方となす。北部は

土耳其の國界に、ビ・ン・ダ・ス・山脈ありて、平地少なく、河流急にて舟運なし。三面に海を繞らすゆゑ、潮流の調和によりて、氣候は溫和なれども、卑濕の地は健康に適せざる處あり。河海の沿岸および諸群島は地味肥ゆ。橄欖・葡萄・無花果・檸檬・桑綿・蜂蜜は農産の主なるものなり。住民は、いはゆる希臘民族なり。性質、伶俐敏捷にて、美術・文學の思想に富む。教育



アテネ府と橄欖園

政治

都會

は、近來大いに面目を改めたり。宗教は希臘教を奉ず。人口二百萬あり。政治は、立憲君主制にて、議會は一院を置く。この國往古は商事・軍事共に大いに開けたりしが、後土耳其領となり、久しくその虐政に苦み、屢兵を擧げしも、志を達すること能はず。今より七十年前に至り、諸外國の助をうけて、漸く獨立の王國となれり。然れども、近年土耳其と戦ひ、全敗して國勢いよいよ振はず。交通は水運の便大いに進めり。首府アテネは、古代文學・技藝の中心と稱せられし地にて、學者・賢人輩出し、商業も隆盛を極めたりしが、今は人口十一萬を有するに過ぎず。ピ・ロ・ス・港は、有名の貿易場にて、アテネと鐵道を連絡す。コ・リ・ン・ス・パ・ト・ラ・ス・等、いづれも要港なり。こ

の國は古來有名の歴史を有し古跡甚だ多し。

中等地理教科書卷三終

明治三十五年十一月九日印刷

明治三十五年十一月十二日發行

中等地理全四冊與付

定價
卷一 金七拾錢
卷二 金四拾五錢
卷三 金四拾五錢
卷四 金四拾五錢

著者

瀧本 鏡三

東京市日本橋區吳服町一番地

印刷者兼

株式會社普及舍

代表者

取締役
中川 九郎

賣捌所

各府縣持約賣捌所

不許複製

86
240



